

休日部活動の地域移行に向けた実践研究事例集

(第1版)

～ 令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に向けて ～



令和4年3月

山梨県教育委員会

本実践事例集の活用について

平成31年1月25日、中央教育審議会において「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」（以下「答申」という。）が取りまとめられました。

答申では、学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務の一つとして部活動を挙げ、将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にし、学校以外が担うことも積極的に進めるべき、とされています。

このことから、国では、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築することなどを改革の方向性とし、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の両立を実現するため、令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に係る実践研究事業の全国展開を本年度から始めたところです。

本県においては、南アルプス市立楡形中学校・八田中学校の関係者の御理解と御協力を得る中、指導者の確保や教師の兼職兼業による指導への関わり方など課題を洗い出すことなどを目的に実践研究を進めるとともに、この取り組みから得られた成果等を取りまとめた実践事例集を作成しました。

本実践事例集が各中学校等に広く周知され、令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に向けた参考になることを期待します。

目 次

1	楡形	基礎情報	1
2	楡形	剣道	2 ~ 6
3	楡形	卓球	7 ~ 11
4	楡形	弓道	12 ~ 16
5	楡形	バスケットボール	17 ~ 21
6	楡形	ソフトボール	22 ~ 26
7	八田	基礎情報	27
8	八田	陸上	28 ~ 32
9	八田	ソフトテニス	33 ~ 37
10	八田	野球	38 ~ 42
11	まとめ	アンケート結果を踏まえた課題・対応策	43 ~ 48
12	【参考】	「令和5年からの休日部活動の地域移行に伴う実態調査」の調査結果山梨県小中学校体育連盟	49 ~ 53

橿形中学校の実践研究

○学校の基礎情報

学校名：南アルプス市立橿形中学校
 住 所：南アルプス市小笠原 9 8 5
 エリアの特徴：橿形中グラウンド・橿形中体育館・橿形中武道館
 日世南アルプスタジアム・橿形総合体育館・橿形テニスコート
 教員数：55名
 生徒数：547名
 部活動数：運動部(14)文化部(5)特設部(3)

○指導者の情報

種 目：剣道
 指導者名：河野 亮
 競技歴：12年
 指導歴：5年
 資 格：剣道三段

種 目：卓球
 指導者名：甘利 肇
 競技歴：32年
 指導歴：5年
 資 格：

種 目：弓道
 指導者名：依田幸男
 競技歴：2年
 指導歴：18年
 資 格：中学校教諭一種(技術・社会)中学校教諭二種(英語)
 全日本弓道連盟初段

種 目：バスケットボール
 指導者名：河野 佑太郎
 競技歴：13年
 指導歴：1年
 資 格：小学校教諭一種 中学校教諭一種(国語) 高等学校教諭一種(国語)

種 目：ソフトボール
 指導者名：中嶋一進
 競技歴：13年(野球)
 指導歴：3年(野球)1年(ソフトボール)
 資 格：中学校教諭一種(保健体育)高等学校教諭一種(保健体育)

剣道部

○概要

種 目：剣道
 参加人数：16名
 指導者名：河野 亮
 学校顧問名：大塚 健太 望月 清一
 部活動の頻度：平日4日 休日1日
 部費の負担：年間30,000円

【活動目標】

- ・剣道の理念（剣の理法の修練による人間形成の道である）を重んじ、心身ともに鍛えていくだけでなく、あくまで人間形成のための活動である。
- ・令和三年度目標「交剣知愛～剣を交えて愛しむを知る～」のもと、この人とまた剣を交えたいと思ってもらえるような人になる。
- ・相手を敬うだけでなく、自分自身も大切にできる。
- ・物事を最後まで取り組むことができる。

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日 8時30分練習開始 11時終了
- 2 活動場所
楡形中学校 武道館 剣道場
- 3 年間指導回数
28回
- 4 指導の工夫
 - ・剣道の理念のもと、稽古そのものを人間形成の道ととらえ、互いに尊重しあうよう活動を行う。
 - ・気剣体の中でも、“気”に重点を置き、剣道における発声の大切さから指導を行う。
 - ・説明する際には必ず指導者自らも取り組むことで、生徒たちの模範となっている。
 - ・地稽古（立ち合いの稽古）の際には、指導者も相手をし、それぞれの生徒に合わせたレベルで生徒の実力を引き出すように指導する。
 - ・指導者としての立場だけでなく、“父”としての目線からも生徒の指導にあたる。

5 学校との連携

- ・学校顧問との連携をし、生徒の個性や性格を把握し、それぞれの生徒に合わせた指導を行う。
- ・剣道経験のある学校顧問（大塚）不在の際は、該当顧問と連絡をし、練習メニューを決める。

6 成果

- ・学校顧問とは違った観点から指導することにより、生徒の意欲的な活動につながった。
- ・指導者は昨年度PTA会長であったこともあり、学校の教育目標や、取り組み方に関して理解があり、学校と歩調を合わせて指導を行った。
- ・指導者としてだけでなく、父としても生徒を指導していたことにより、生徒の人間的な成長にも目を向け、学校顧問とともに指導にあたることができた。

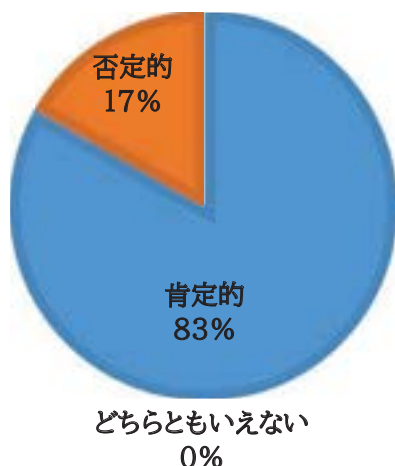
7 課題

- ・教育内大会の引率においては、拘束時間が長いこともあり、ボランティアのような形になっている。
- ・“各校1人まで”の引率となった場合、学校顧問と指導者が行くことができないため、どちらかが会場を出た際に、もう一人が入るような形をとらざるを得なかった。



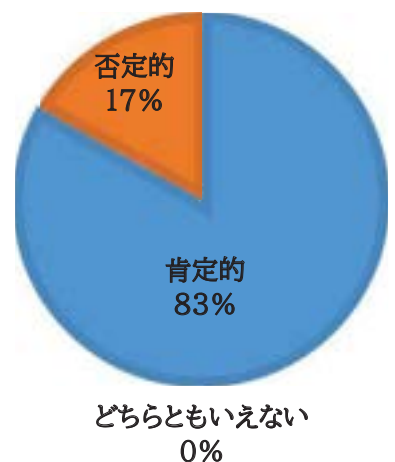
【生徒】(n=5)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



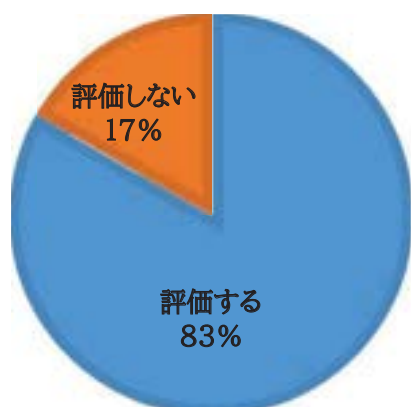
- 顧問の先生が全体に教えているときに、人それぞれ細かい所を教えてくれたことで一つの事に対してより理解が深まった。
- 他の先生にも教わることで違う感覚で学ぶことができよかったです。
- 自分の課題点などを動きを加えて説明するのが分かりやすいです。
- 個人的には、人見知りがあるのでやっぱり平日は会わずに休日だけの先生となるとコミュニケーションが少し苦手なところがある。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 同じ部内の人以外とも活動を共にするなら多くの考えややり方などこれまでとは違った沢山の経験ができるだろうし、地域の指導者の方からも新しい事を教わったり、違った教わり方があると思う。
- 人が多くなることでいろいろと考え合えるからいいと思います。
- ▼先生という地位が安定していないため統率力が少し低い場合他校の生徒とトラブルがあるかもしれない。

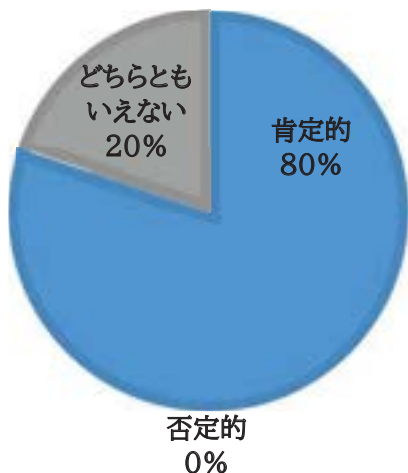
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 普段からやらない人のでき、顧問の先生と違った視点で教えてもらえるから評価します。
- 細かい所まで教えてもらいやすい所が良かった。
- いつもとは違う教え方で教えてもらえるので、教えてもらってない所も、教えてもらえるので良かったと思います。
- 楽しかった。
- ▼どちらともいえないため

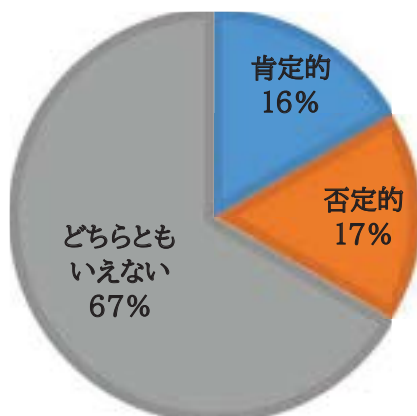
【保護者】(n=6)

1. お子様の様子はどうでしたか



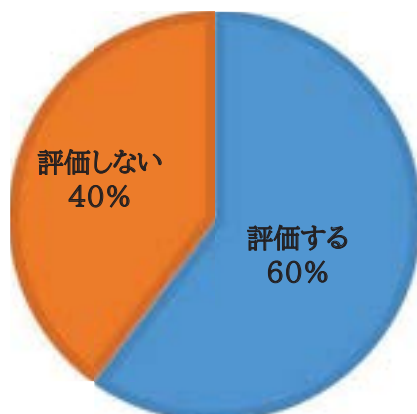
- 子どもにとっては学校の先生以外の方に指導をして頂く機会は少ないので有り難い事だと感じています。
- 新鮮さがあったように感じる。普段と違う視点での指導や意見が聞けたりで自分の剣道での長所や短所が分かってきてる。
- ◇子どもの人見知りのあることで休日のみの指導となるとコミュニケーションが少ない中での活動で続けていけるのかという心配があります。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 先生方の負担軽減を考えると民間委託の導入も必要ではないかと思います。
- 参加料や保険料がかかるのは当たり前のことだと思う。
- 地域部活動になり、中学の中だけの生活ではなく、社会とのつながりがもてるのは良いと思う。
- 土日の部活はしなくてよい
- ◇学校の部活動としてやる事で仲間意識が高まったりと思うので移行せず別の方が良いと思います。
- ◇外部の指導者に指導を受けることは、たくさんのメリットもあると思いますが逆に子どもたちに教えるという技術を持ち合わせとしない方がちゃんと指導出来るのか・・・という不安はあります。指導者側のスキル向上もお願いしたいです。(体罰や暴言なども)
- ◇できれば国や自治体からの助成があれば保護者の負担軽減にもなるのかなと・・・部活によっては物品をそろえるまでにお金がかかる上に経費負担となることでその部活を諦めないといけないということがないようにしてほしいです。
- ◇平日は先生、休日は外部指導者となる事で指導が統一できるのか心配です。
- ◇休日に自己やケガがあった場の対応はどうなるのでしょうか・・・

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 学校の先生以外の人達とふれあうことは良いことだと思いました。
- 先生方の負担軽減のためには必要。
- ▼今はどちらとも言えない

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

- ・学校の部活動の延長線に外部の指導者も参加している感じなので特に変わった様子はないと思う。
- ・地域への移行とは完全になっていないので微妙なラインにはなるが生徒は教師＋指導者の状況で楽しく取り組めてはいる

2. 指導者との関わりはどうでしたか

- ・昨年度PTA会長かつ昨年度から何度か稽古に来て頂いている人なのでとても頼りになり、学校への理解も強い。人柄もとても穏やかで全員の父のような存在である。

3. 休日部活動の成果と課題について

【成果】

- ・異なる視点で生徒を見てくれているので良い。
- ・教員と近い目線で育てようとしてくれているため目が増える。

【課題】

- ・今後の休日の大会はどうなるのか。引率など完全に任せられるのか。
- ・教育的立場で生徒を見てくれている人であれば良いがそうでない人が指導者になってしまうことへの不安(今はそんなことはない)

4. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・あくまで部活動は教育活動の一環なのでその理解のある人物が指導者になるのであれば評価するが、競技のみの指導では評価出来ない。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

- ・日々の活動と継続した活動により、一人一人の目標とした技能の習得につながった。
- ・個人種目であるが常に友達のことを考えさせ、取り組ませたことによって周りにも目を向けられるようになった。

2. 運営面や学校との連携について

- ・人数が少ないので一人でもできるがやはり学校の顧問の先生はいてもらいたい。
- ・何かあった等(ケガ、事故)は一人では不安。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・社会体育との違いが分からない。
- ・今の体制では無理があるため。

卓球部

○概要

種 目：卓球
参加人数：12人
指導者名：甘利 肇
学校顧問名：佐久間 和之
部活動の頻度：平日4日 休日1日
部費の負担：個人負担はなし

【活動目標】

- ・卓球の楽しさを知り、公正さ、規律を尊ぶ態度や克己心を培い、県大会出場を目指す。
- ・卓球部の活動を通して健全な心と体を兼ね備えた生徒の育成に努める。
- ・競技力の前にまず人間力を高められるよう、日々の活動の中で指導していく。

○活動内容

- 1 主な活動時間
土日 8:30～11:30 または 13:00～16:00
- 2 活動場所
橿形中学校体育館
- 3 年間指導回数
45回
- 4 指導の工夫
 - ・それぞれ練習で意識することを言葉と動作で伝え、意識させる。
 - ・生徒たちの練習パートナーになり、質の高い練習になるよう心掛ける。
- 5 学校との連携
 - ・練習前に大まかな練習内容を話し合っ確認しておく。
 - ・練習中も顧問と話し合っ臨機応変にメニューを更新していく。

6 成果

- ・生徒たちと直接指導・練習することにより、基本的技術の向上が見られた。
- ・技術の向上により、大会での成果が出てきた。

7 課題

- ・基本的技術の習得に時間がかかってしまったので、短時間で生徒たちがもっと楽しく意欲的に集中して練習できるメニューや環境の工夫が必要だった。

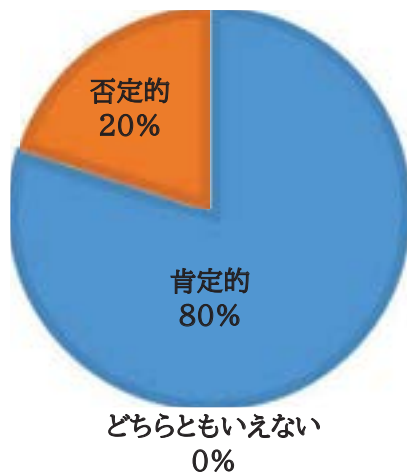
8 今後の方向性

- ・大会の在り方や大会運営の方向性が定まっていないので、現状のままで良いのではないかと思う。



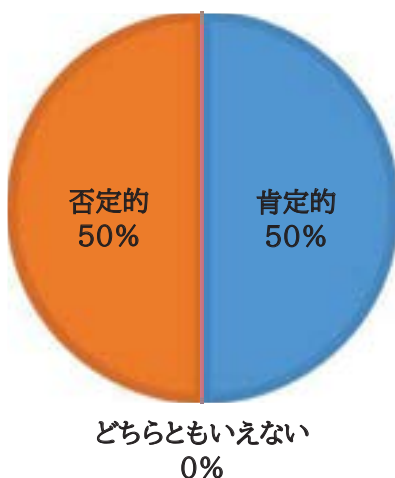
【生徒】(n=4)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



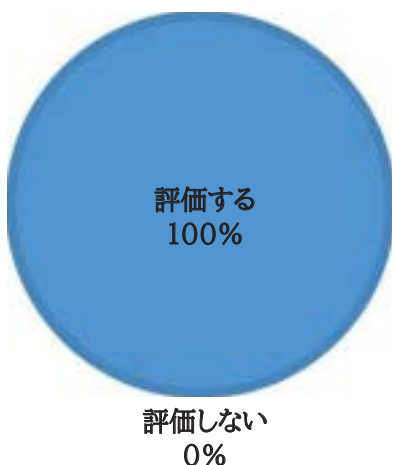
- 普段とは違い、普段やれない練習をした。
- いろんな技を教えてもらったり大会で勝つためにラケットを貸してもらえたりいろんな事をしてもらえたので良かった。
- 出来なかった技術が身に付いた。
- 休日に練習に来ている人は、少しずつ気持ちも変わった。
- 休日の練習は、平日の練習と比べて来ている人が少ない。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- いろいろな卓球をしている人とかかわって勉強できると期待しています。
- 先生がいなくなると、注意する人が少なくなり、部活動へ参加する人も少なくなると思う。
- 部活が土日だけ3時間以上とかになるなら少しやだなと思う。

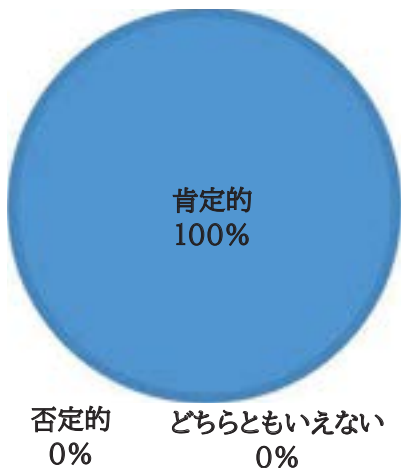
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 特別指導者がくるのは悪くないと思うから。
- 学校の先生以外の指導者の教え方が勉強になるから。
- 質の高い練習ができた。
- 練習のメニューを教えてくれたこと。

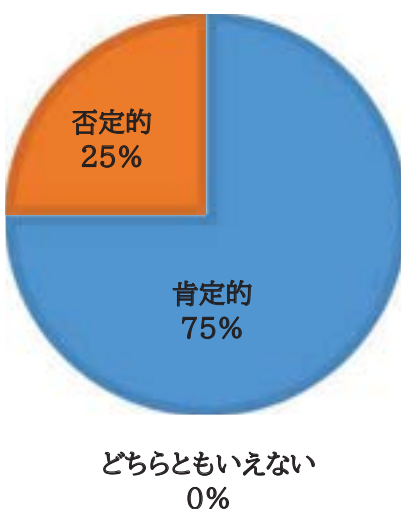
【保護者】(n=4)

1. お子様の様子はどうでしたか



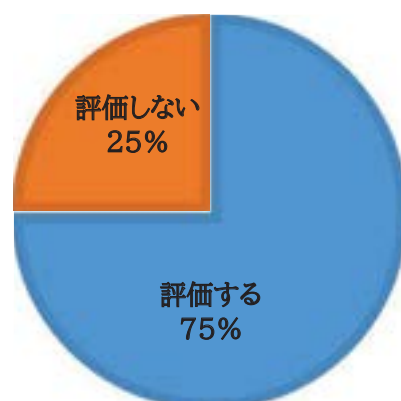
- 技術的な指導を受け技術が上がった。
- 個人戦・団体戦など結果が出てきた。
- 教えられた事を練習している。
- 先生以外の指導者の方の指導はいつも「楽しい、分かりやすい」などを耳にします。
- 私は本当に有り難いと思います。
- 違う視点からの指導で刺激を受けているように思います。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 現時点で地域のスポ少に入団しているので、今後地域部活動へ移行しても問題ない。
- 子どものやりたい事に対しての参加料などの負担はしかたのないことだと思います。
- 適切な金額なら必要ならば負担することは仕方ないと思います。
- 指導者は中学生に指導するのに適した方をお願いしたいと思います。
- 地域部活動となると、保護者の負担が大きくなり、また、一部の保護者も迷惑がかかるような気がします。部活動は学校の活動であると思うところもあります。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 顧問の先生の負担が少しでも減れば良いと思う。
- 学校の先生以外の指導も本人の勉強になると思います。
- 試してみないと分からないこともあると思うので。
- スポ少とは違い学校活動と考えます。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

・専門的な知識や技術を直接教わることができ、前向きに取り組む姿が多く見られました。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

・昨年度からもボランティア的に指導に来てくださっていた方だったので不都合は感じませんでした。男子の部員が少ない中で欠席する部員もあり、せっかくな来ていただいたのに人数が少ない日は申し訳なく思いました。

3. 休日部活動の成果と課題について

【成果】

・参加して教えてもらっている生徒にとっては様々な面でプラスになったのが成果だと思います。部への参加が保護者への対応については今まで通り顧問がやっていくことになると思うが、いずれはそこもお願いすることになっていくのか、そこまでは申し訳なく思います。

4. 今回体験した休日の地域部活動について

・私はたまたま中学・高校時代に卓球部に入っていたためある程度の指導はできるが、学校によっては専門外の顧問を務めることもあり、専門の方が来てくれることは大変有り難いと思います。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

・成果は、基本的な技術が少しずつ習得でき個人戦、団体戦と結果が出てきた。

【課題】

・課題は、部活動への出席率に差が出てしまい技術に差が出てしまっているので、部活動をもっと楽しく集中して練習出来る環境を作りたい。

2. 運営面や学校との連携について

・今は、顧問の先生が運営、生徒・保護者への対応を全て行ってくれているので、部活動の技術的な指導を集中して出来ていますが、生徒・保護者の対応となると不安があります。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

・今後、休日地域活動への移行で、子ども達の技術の向上と顧問の先生の負担が少し減ると思うので評価します。

弓道部

○概要

種 目：弓道
 参加人数：30名
 指導者名：依田幸男
 学校顧問名：三井敏正、高橋章子
 部活動の頻度：平日4日（月曜日オフ）、土曜日3時間
 部費の負担：

【活動目標】

- ・弓道への理解を深め、生涯にわたり弓道に親しもうという姿勢を育てる。
- ・関東、全国等、上位大会への出場を目指す。

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日 8：00開始 11：00終了
- 2 活動場所
楡形中学校弓道場
- 3 年間指導回数
35回
- 4 指導の工夫
 - ・弓道は殆どの生徒が初めての経験なので、基本的な技術の習得を目指す。
 - ・入門期なので、正しい技術の習得ができるよう指導する。
 - ・「射法八節」という基本形から生徒は逸脱した射形になりがちなので、そうならないような実技指導をする。
 - ・高等学校へ進学しても続ける生徒が増えるように、弓道の楽しさを実感できるような指導をする。
- 5 学校との連携
 - ・前年度までの4年間、当該校の職員であったため、顧問団とは容易に連携することができた。
 - ・練習日程など、顧問と密に連絡を取り合うことができた。
- 6 成果
 - ・今年度の1年生も、ある程度正しい射形で的中もできるようになった。

7 課題

- ・的中できるようになると、基本形が崩れ易くなるので、継続した実技指導が大切である。

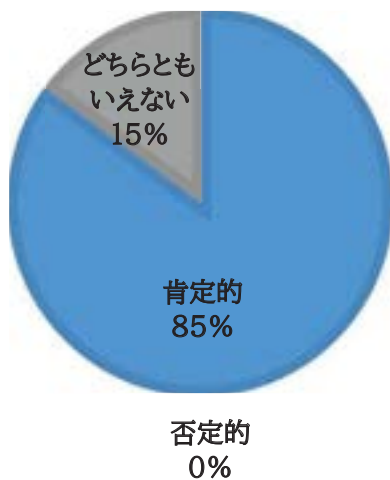
8 今後の方向性

- ・地域部活動で本校以外の生徒も弓道ができる機会ができることは、喜ばしいことである。ただ、1人の指導者で実現するのは困難であると思われる。



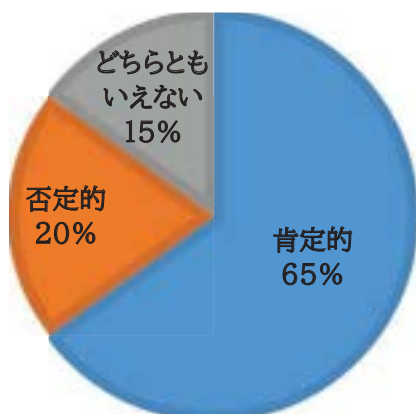
【生徒】(n=20)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



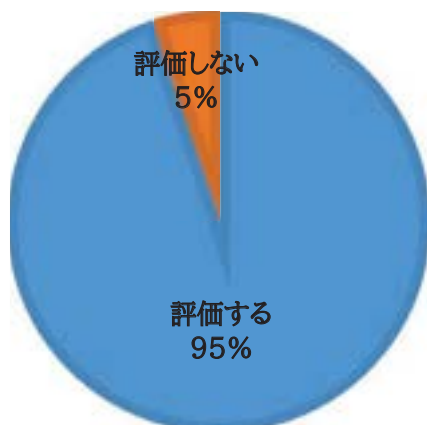
- 経験者の専門的な話を聞き、上達につなげることが出来た。
- 知識のある方から指導してもらったことから、自分の課題点を改善する事ができ良かった。
- 自分のダメな点を改善点まで言ってくれたり自分の道具を直してくれたりして良かった。弓道は難しいから詳しく教えてくれて良かった。
- ◇指導して頂く時間が土曜練や休日練のみに限られたので少し不安に感じた。
- ◇細かい所まで指摘してくれて良いと思うけど、いつも見てる人が接しやすく違う指導者だと教えてもらう以前に話しかけづらいという点がある。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 地域の人とも関わったり、他校の生徒と試合形式などで行うことにより、本番に近い練習になるから良いと思う。
- 地域の指導者、例えば南アルプス市の弓道部の人達に指導してもらえればより良い技術の向上が望めると思う
- 周りの射形を見られるのは良いと思う。
- 学校に守られていた感じがあったからかなり安心したけれど地域となると知らない人が多く来ることが不安。
- 生徒同士のいじめ、けんか、陰口が心配。
- ◇顧問の先生ではないため時間などが曖昧になりそう。
- ◇人数が増えることにより、指導者の目が全員にしっかりと行き届くのか不安。

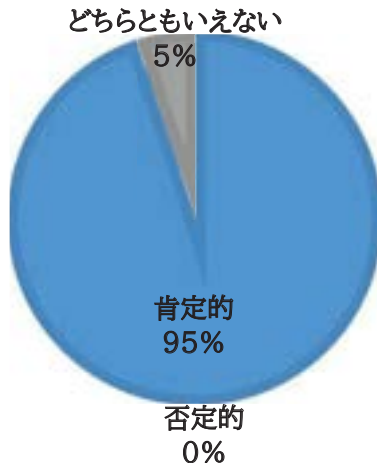
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 専門的なことを詳しく教えてもらったから。
- 自分の改善点を教えてくれて、どんどん上手になっていけたから。
- 弓道は難しいスポーツなので専門的な指導者がいてありがたい。
- もっと地域の指導出来る方に教えてもらいたい。
- 客観的な意見がもらえたから。
- 人とのつながりを感じられるから。
- なんとなく。

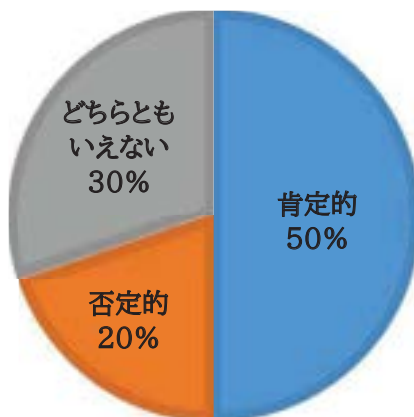
【保護者】(n=20)

1. お子様の様子はどうでしたか



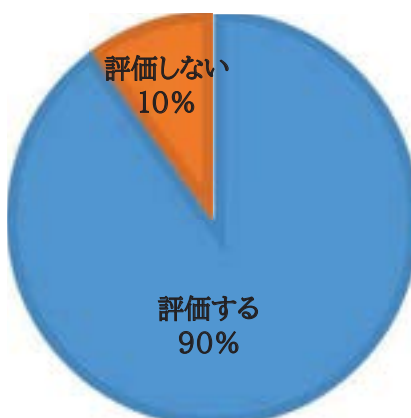
- 知識のある方に指導していただけるのであれば子どもたちの可能性を伸ばしていけると思いますし、先生方の休日出勤の負担を減らせるという意味でも良いと考えます。
- 優しく丁寧に教えて下さり子どもも良かったと申しておりました。
- 年配のOBの指導では顧問にはない細かい指導がありとても分かりやすかったとのことでした。
- ◇指導してもらう時間時間が減ったことで技術面が不安がある。(学校の顧問の先生が居るので大丈夫だと思いますが)

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- いろんな大人と関わってコミュニケーション取れる機会があるがたいと考えます。人生において中学時代の部活動はたくさんの感情を経験できる貴重な場だと思いますので、しっかりとした信頼関係を築けて、熱心に指導して頂けることを願います。
- 本人がやりたい部活動であればどんな形になってもやっていくと思います。開始終了時間など安全に関する連絡が密であれば大丈夫でないでしょうか。
- 活動場所が遠くなるのは困る。
- 受益者負担となるのはどうかと思う。また、負担がどの程度になるか、活動の時間、場所等トータルで考え、部活を選ばなくてはならない。
- ◇いつもと違う指導者からの指導はいいことだと思うが、色々な面で負担が増えるのならば学校部活動のままでいいのでは。
- ◇学校での部活動は技術の指導だけでなく教育の一環でもあり、保護者としても安心が出来る面があります。地域部活動へと移行する際には教育的要素はなるべく残して頂きたい。
- ◇地域部活動は昨今の働き方改革等を踏まえると、良いとは思いますが生徒同士のトラブルや支障を来した場合の対処がどうなるか等心配です。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 外部コーチに指導していただくことや地域の弓道部の方と弓を引いたり指導していただくことは子どもたちも勉強になると思います。今回は外部コーチという事でしたが良かったと思います。弓道は特種な競技なのでそういう手段も良いのではないかと思います。
- メリット、デメリットはあるかと思いますが、子どもたちにとっての最善の方法で部活を行って欲しいと思います。
- これからも地域部活動を通じて人々とつながりを持ち、社会との関わりを続けてほしいです。
- 平日の部活動だけで十分だと思っている。
- 部活動なら参加するが、自ら習い事を習いに行くのか?と考えるとなかなか難しいのでは。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

・通常の部活動と同じ感覚で取り組んでいるように感じる。(専門とする指導者が居てくれるかどうかの違い程度のもの)

2. 指導者との関わりはどうでしたか

・学校での計画に合わせて頂いており大会等にも参加してもらい感謝するのみです。

3. 休日部活動の成果と課題について

・学校の部活動を基盤としているので、地域移行という看板の掛け替えにとどまりかねないのではないかと危惧する。

4. 今回体験した休日の地域部活動について

・地域移行するのならばドラスティックに学校との関係を切るぐらいの意識を持たないと変わらないのではないかと。また、地域移行した場合の事故等に関する責任の所在等考慮しないとなり手(指導者)も確保できないのではないかと思う。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

・学校部活動顧問との連携がよくでき、弓道経験のない先生も実技指導のポイントが押さえられるようになったと思います。

【課題】

・特にありません。

2. 運営面や学校との連携について

・弓と矢を使う弓道は、そもそも危険が伴う競技です。
・コロナ禍にあり、生徒への「健康チェックカード」の回収と点検及び施設の消毒作業等、作業内容が増えています。自分の経験から学校部活動顧問であれば生徒の情報も耳に入ります。地域部活動では、様々な学校からの参加を想定しているようなので、生徒理解という面で厳しいと思われれます。安全第一を考えた時、地域部活動を1人で指導することは困難であると考えます。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

・生徒の理解面での厳しさや、1人での指導の困難な点から評価出来ない。

女子バスケットボール部

○概要

種 目：女子バスケットボール
 参加人数：5名
 指導者名：河野 佑太郎
 学校顧問名：竹内太郎
 部活動の頻度：平日4日, 休日1日
 部費の負担：

【活動目標】

- ・チームの一員としての自覚をもつ。
- ・一人ひとりが仲間とチームのために精一杯練習に取り組む。
- ・チームで協力して試合に臨む。

○活動目標

- 1 主な活動時間
土曜日・日曜日 8時00分練習開始 11時終了
- 2 活動場所
楡形中学校体育館
- 3 年間指導回数
37回
- 4 指導の工夫
 - ・生徒の自主性を重んじる観点から, 練習内容は自分達で考えさせるようにしている。また, 生徒の考えや一人ひとりのプレイスタイルを尊重するよう心がけている。
 - ・練習をする中で, 改善点があれば, 指導・助言をする。
 - ・指導者が実際にプレーし、効率的な動きや見本となる動きと自分の動きを比較しながら技能の理解やイメージを深めさせる。

5 学校との連携

- ・顧問の先生方と細かく情報を共有し、平日の活動の様子や大会の結果などを把握するようにしている。特に、生徒の心身の健康状態は、丁寧に確認することを心がけている。

6 課題

- ・多くても、週に一度しか生徒と関わるできないため、生徒との信頼関係を築くことが難しい。
- ・普段の練習の様子を直接見ることができないため、継続的に技術面の変化を見取ることが難しい。

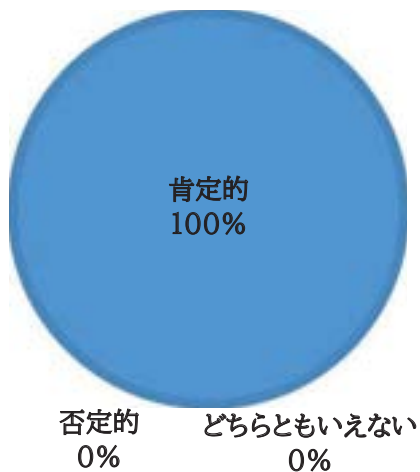
7 今後の方向性

- ・今後も、顧問の先生方と連携を密に取りながら、生徒の指導・助言を行っていく。
- ・技術の習得は、重要なことだと思うが、それが原因で生徒同士の関係が悪化したり、心に傷を負ったりすることがあってはいけないと思う。互いを尊重し、笑顔でバスケットボールをすることができるチームづくりを念頭に、指導を行っていきたい。



【生徒】(n=6)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



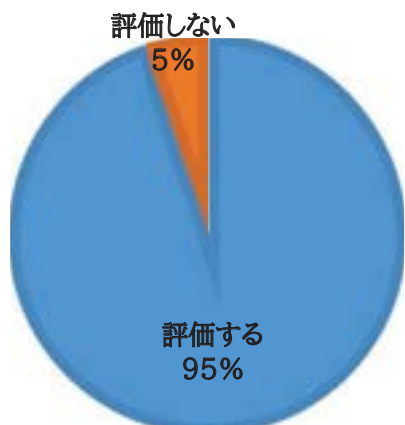
- 自分のダメだったところや出来ていない部分を教えてくれるので良かった。
- 専門的な所を教えてもらえた。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- いろいろな人と交流できるので良いと思う。
- 専門的な指導を受けられるから。
- ◇土日だけの練習になることへの不安。

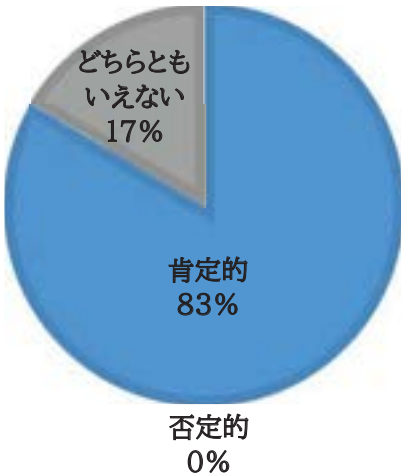
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 分からないところや課題に対して教えてもらえたから。
- いろいろな人に指導してもらえたから。
- ▼もっと指導してもらいたかった。

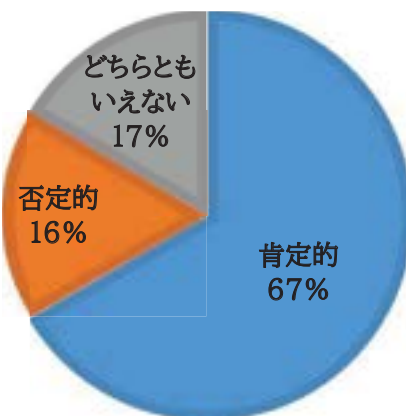
【保護者】(n=6)

1. お子様の様子はどうでしたか



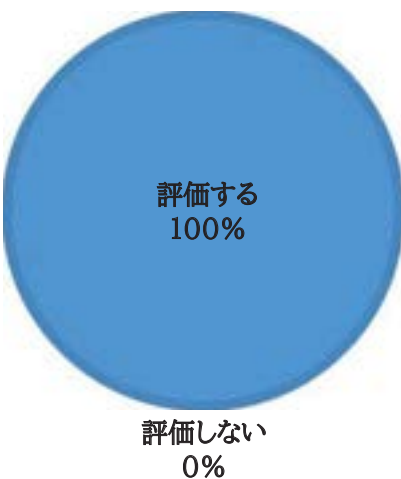
- 普段とは違う感じででき、ちゃんとにできていないところを教えてもらえたりするのは良いと思う。
- いつもと変わらず活動出来ていたようです。
- ◇学校の先生以外の指導者から指導を受けたいことを知りませんでした。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 専門の指導者に指導してもらえることは良いと思います。
- 他校の生徒との交流が出来るのは良い事だと思います。
- 参加料等がどの位かかるのか
- ◇まだ分からないことが多い。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 専門的な指導者に指導してもらえることは良いと思う。
- 今までの部活動と変わらず出来ていたから。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

- ・練習内容を相談したり教えてもらったりする姿が見られました。
- ・指導員の方も生徒たちに練習や休憩中にいろいろ話しかけて、コミュニケーションをとろうとしてくださっていて、3年生を中心に生徒たちも話をしていました。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

- ・土日の練習で、可能なときをお願いをしていたので、特にありません。

3. 休日部活動の成果と課題について

- ・完全に部活動を学校の活動と切り離して地域の活動として行わない限り、顧問が関わらないわけにはいかないと思います。そのため教員の負担は変わらないと思います。人間関係や各種大会、ケガ・事故など、「知らなかった」では済まされない部分や、教員が運営に携わっているものなど多々あります。学校の「部活動」と地域の「部活動」を両立していくには、その点を解決していく必要があると同時に可能なのか疑問に思っています。
- ・世間にまだ周知されていない部分が多い

4. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・地域移行するのならばドラスティックに学校との関係を切るぐらいの・子どもたちが様々な人に関わっていただけることは良いと思います。
- ・多くの目で子どもを見ることができるようになるのはよいと思う。意識を持たないと変わらないのではないかと。また、地域移行した場合の事故等に関する責任の所在等考慮しないと手(指導者)も確保できないのではないかとと思う。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

- ・主として携わっている先生方とは違った視点で指導・助言を行うことは、生徒にとって、自分たちを新たな視点で見るときっかけになっていると感じています。

【課題】

- ・課題(悩み)としては、週末の1日のみということで、生徒との信頼・関係づくりが難しいと感じています。

2. 運営面や学校との連携について

- ・現在は、部活動を自分一人が見るという状況はないため、安全面の心配はない。しかし、自分一人のみが見ることになることもあるかもしれないため万が一の対応の仕方については、先生方と確認をしておきたいです。
- ・試合の結果や、平日の部活動の様子等を先生方が逐一教えて下さるので、とても助かっています。
- ・生徒との連携については、信頼関係を築いていくことの難しさを感じています。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・何よりも、この制度がさらに運用されるようになれば、先生方の負担が大きく解消されると思います。さらに、地域との連携という点でも非常に有効な取り組みだと思います。最後に、これは個人の感想ですが、地域の子どものための教育活動に少しでも貢献できていることに誇りと喜びを感じています。

女子ソフトボール部

○概要

種 目：女子ソフトボール
 参加人数：16名
 指導者名：中嶋 一進(兼職兼業)
 学校顧問名：川崎 幸司
 部活動の頻度：平日4日、休日1日(教育内大会前は2日)
 部費の負担：年間18,000円

【活動目標】

- ・ソフトボールを通じ、心身ともに健康で強い人間になってほしい。
- ・ソフトボールを通じ、仲間を大切にして相手を思いやる心を持ってほしい。
- ・ソフトボールを通じ、目標に向かい頑張ることのできる人間になってほしい。

○活動内容

1 主な活動時間
 土曜日 8時00分練習開始 11時終了

2 活動場所
 橿形中学校グラウンド

3 年間指導回数
 45回

4 指導の工夫

- ・ソフトボール部の選手である前に橿形中学校の生徒であることをしっかり理解させ、学級活動や授業、部活動を全て頑張るよう指導する。
- ・わからなかった際に途中練習を止め、何回も同じプレーを繰り返し行い、一つ一つ習得できるよう指導を行う。
- ・指導者が実際にプレーし、効率的な動きや見本となる動きと自分の動きを比較しながら技能の理解やイメージを深めさせる。
- ・次に起こることをイメージし、仲間に伝えていけるよう、声の大切さを理解できるように指導を行う。
- ・チームのために個人スキルアップへの意欲が高まるように、意識を高めていける集団作りをしていく。



5 学校との連携

- ・学校職員としての活動の為、本来の部活動と同様の活動ができた。
- ・他の顧問とも連携がとれ、練習場所等の確保がスムーズにできた。
- ・兼職兼業の為、学校の方針や指導方法、部活動の目的を理解し、活動することができた。

6 成果

- ・学校職員として平日も並行して指導ができていたので、顧問として部活指導だけでなく、学習指導や生活指導ができた。生徒は楨形中の生徒として学習や学校生活、行事等をしっかり取り組み、人間力を高めることができた。部活動にも懸命に取り組む姿につながり、部活動を良い雰囲気で行うことができた。
- ・学校職員として平日も並行して指導ができていたので、平日も休日も専門的な指導やチーム戦術練習等の指導ができた。
- ・学校職員として平日も並行して指導ができていたので、毎日コミュニケーションをとり生徒との信頼関係を築くことができたので、指導が入りやすいと感じた。また生徒の人間関係等の個人の悩みやコンディション不良に素早く気づき、生徒の心身を整えた上で指導ができた。

7 課題

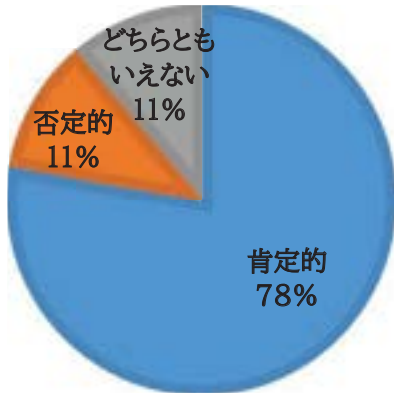
- ・休日の練習時間が3時間と限られているので、大会シーズンは活動量の確保が大変だった。
- ・教育内大会の打ち合わせ会議等、顧問への負担が多くなってしまった。
- ・教育内大会の引率や運営が拘束時間や日数を含め、ボランティアの様な形になっている。
- ・関東大会への引率が自費での活動になった。県内遠征や県外遠征も同様。

8 今後の方向性

- ・教育内大会の在り方や大会運営方法の整理をしていかないと方向性がわからないので、現状のままで良いのではないかと思う。
- ・土日の活動場所や活動費をどのようにしていくのか。
- ・外部指導者が入り専門的な指導を求める保護者もいるが、顧問の先生として学校教育活動の中で人としての育成や成長を求める保護者も多いと感じている。
- ・部活動として生徒や保護者から何を求められているのかを考え、ニーズに合わせた組織づくりや活動が重要だと思う。
- ・地域移行することで高い目標の中で活動する組織も生まれると思う。その際に誰もが気軽に運動を楽しめるような組織を確立させることも必要だと思う。組織の雰囲気や金銭面も含めて。

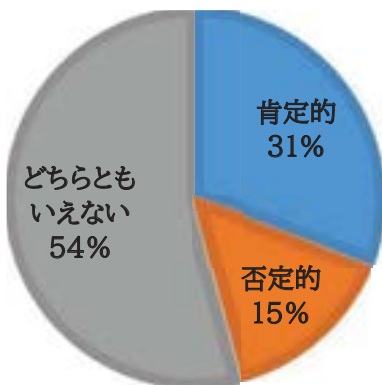
【生徒】(n=10)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



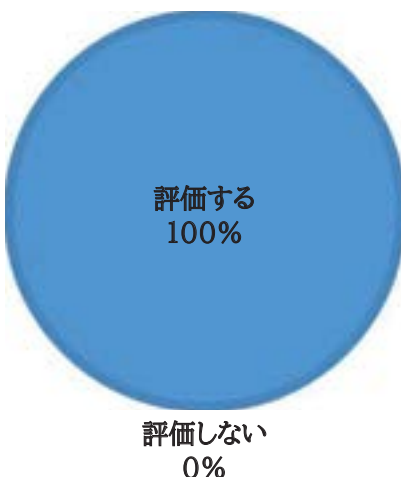
- 学校の先生が見てくれることで、ソフトで気になったこと、知りいことをすぐに聞ける。(土日だけだと1週間待たないといけないから)
- 自分たちの良いところ、悪いところがわかっているから自分も教えてくれてる事がわかりやすい。
- 平日の部活で見えた課題を休日に確認して改善ができる。毎日一緒だからコミュニケーションがとれるし、一人一人の特徴を知ってくれているからあった練習ができる。
- 同じ人から指導してもらうから他の人の技術を吸収できない。
- ◇先生によってメニューが変わる。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 大人数とプレーすることで学んだり教えたりできる。
- 人が多いと色々な人に指導してもらえる。
- 違う中学校の人と仲良くなれる。
- 学校対抗での大会を目標に頑張っている部活動の伝統をなくすのは良くない。
- 部活動という本来の目的をなくすのは違うと思う。
- ◇自分のチームだけで練習する事が減るから試合が出来るか不安。
- ◇慣れた人じゃないと人との交流が不安。
- ◇違う中学校と一緒にやることで「自分がついていけないんじゃないか」「皆とうまく混じれないんじゃないか」などがあってとても怖い。

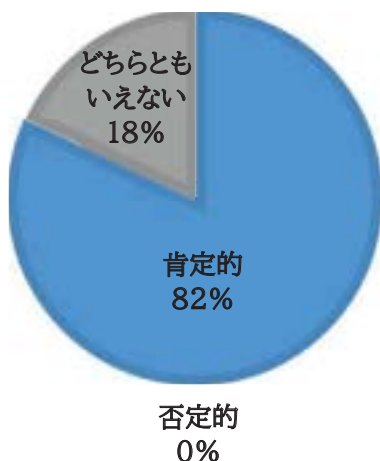
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 自分がどんな選手なのか分かっているから、地域の人が見るより経験者である先生が見た方が良かったから。
- いつも一緒にいる人だから。
- いつもと練習メニューが変わらず普通にできた。
- 一つの中学校のチームで土日も部活をしたいから。

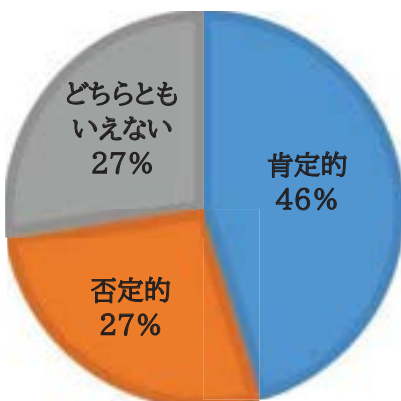
【保護者】(n=10)

1. お子様の様子はどうでしたか



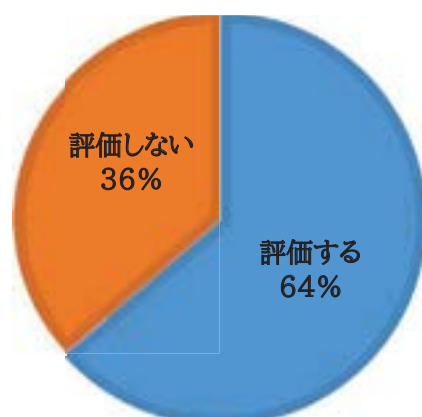
- 娘はとても楽しく活動できたようです。外部の指導者の指導はあっても良いと考えます。技術の向上を考えると外部指導者の力を借りても良いと思う。
- 先生方の指導とは違い新鮮でためになった。ソフトボール指導者の指導は経験を活かした実践的で良いと思う。
- 一生懸命出来て満足の様子。
- ◇本来のこの事業の目的を考えると複雑な思いです。外部指導者をつけるとした場合、先生の方、考え方、目標、指導方針など同じ考えを持って頂く事を希望します。
- ◇学校での様子も踏まえた上での部活動だと思っていたので学校での子どもたちの関係も知って欲しいので、学校の教員が外部指導者として部活動を見て欲しいです。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 技術面やメンタル面において向上できることを期待します。
- 専門分野での指導者の指導は部活動のレベルアップには良いと思う。
- 経費負担については理解できない。学校部活動から地域部活動に移行することまですることなのか。
- これまで以上の経費が掛かってくる場合は、部活動の継続を考え直す必要もあると考えます。また、地域部活動となると楯形中だけでなく他校での活動も多くなるとは思われますがそのための送迎が必要になり、対応できる家庭は良いのですが諸事情により対応できない家庭にとっては肩身の狭い思いをすることになるのではないのでしょうか。
- ◇外部の指導にあたり学校生活とは接点がないため子どもの性格や方向性をお互いに理解するのに時間が要するのではないのか。
- ◇地域部活動へ移行する事で、今後学校単位ではなくなる。試合も今までの大会がなくなってしまうのか？など心配。参加料や保料の件も、学校以外に負担になるとしたら所属自体考えてしまう。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 平日は決められた時間でしかできないので休日の活動は良いと考えます。
- まだなんとも言えない所ですが地域部活動への背景を考えると良いのではないかと思います。
- 選手や教師の方にとってはメリットがあると思います。
- 各家庭の支援が前提であり、支援ができる家庭とできない家庭による様々な格差が発生することが心配です。
- 休日先生以外の指導者、参加料徴収となると既に「部活動」ではなくなるのでは。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子は怎么样了か

・本部活動は、地域の方と学校支援員が同一のため、通常の部活動にかなり近い状況で取り組むことができ、生徒も安心感をもって活動することができました。

2. 指導者との関わりは怎么样了か

・常に、生徒の様子や打ち合わせなど、入念にすることができ、不便を感じることはありませんでした。
・指導者には、選手に対する指導、生徒の活動に関わる精神的な支えや生活指導をお願いし、私は後方サポート・怪我のケアなどに徹することで役割分担をしています。

3. 休日部活動の成果と課題について

【成果】

・通常ならば学習支援員は部活動顧問になれないので、立場を変えてでも指導に当たることができたのはよかったと感じている。

【課題】

・単年度契約でなく、継続的な指導ができる方が存在するのか不安。
・そのための予算の目途が立っているのか、結局日本型教育の献身的な(教員等の)ボランティアに頼るつもりではないのか、相当の不安がある。
・顧問も人間関係を円滑にしたり、技術指導に集中していただくためには週休日も行動を共にしている現実がある。

4. 今回体験した休日の地域部活動について

【評価する】

・予算の面での確実な目途が付き、全県で一斉に全ての部活動の体制が変えられるのであればその時に教員の負担が減ると思う。
・過渡期の苦しさであれば、教員に手当を厚くし、不満感を減らす中で、移行した方が良い。

【評価しない】

・中途半端に徐々に変更ならば、従来通り「なし崩し」になると感じている。生徒や保護者から評価されない。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

・兼職兼業での実践のため、学校生活、授業と部活動を関連付け指導を行うことができた。その結果、部活動だけ頑張る生徒ではなく、学業と部活動を両立して学校生活に取り組む生徒の育成ができたと感じる。

【課題】

・課題に関しては兼業での実践のため、特になし。

2. 運営面や学校との連携について

・兼職兼業のため、保護者、生徒、顧問との連携は特に問題はなし。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

・部活動の目的や本質が地域に移行された中でも理解されているのか。指導者が教員であるから毎日コミュニケーションが取れ、信頼の構築や生徒理解ができた上での人間性の部分の指導が行える。競技力向上を優先的に目指すのであれば、クラブチーム等の組織で活動すれば良い。勿論強いクラブチームは部活動と同様に、人間力育成が根本にあるが、そうでないクラブや指導者がいるのも現状。地域に下した際に勝利至上主義になり、スポーツだけやっていたら良いという生徒が増える可能性も考えられると感じる。また、運動部に限るが運動が苦手でも体育の授業以外に仲間と運動を楽しむことができる重要な機会。地域活動になり、競技レベルが高くなり、誰もが気軽に入ることができなくなる可能性があると思う。

八田中学校の実践研究

○学校の基礎情報

学 校 名 : 南アルプス市立八田中学校

住 所 : 山梨県南アルプス市榎原620

エリアの特徴: 果樹農園が広がる農村地帯。平成の大合併以前は八田村立の中学校として小規模ながらも地域密着型の学校教育を大切にしてきた。部活動にも力を入れてきた伝統があり、平成19年には全国中学校駅伝大会で優勝した実績がある。交通の便の良さから、近年は旧村外から流入してくる世帯が増えている。一方で、少子化に伴う生徒数減少も進行し、チームスポーツにおいて、他校との合同チームを作らざるを得ない部が出はじめている。(野球、バレーボール)

教 員 数 : 21人

生 徒 数 : 170人 (1年57人、2年50人、3年63人)

部 活 動 数 : 8 (運動部6…陸上、野球、サッカー、男子ソフトテニス
女子ソフトテニス、バレーボール)
(文化部2…吹奏楽、創作)

○指導者の情報

種 目 : 陸上競技
指導者名 : 鈴木 正一 (65歳)
競 技 歴 : 0年
指 導 歴 : 40年
資 格 : 元中学教員。(保健体育)

種 目 : 女子ソフトテニス
指導者名 : 浅野 茂 (48歳)
競 技 歴 : 0年
指 導 歴 : 20年
資 格 : 教員免許 (保健体育)、元中学教員。

種 目 : 野球
指導者名 : 田鹿 欣孝 (42歳)
競 技 歴 : 5年
指 導 歴 : 16年
資 格 : 教員免許 (保健体育)、現在本校教員。

陸上競技部

○概要

種 目：陸上競技
 参加人数：3年生 10人，2年生 12人，1年生 1人【計23人】
 指導者名：鈴木 正一
 学校顧問名：野田 侑実，芦澤 幸敏，植村 友哉
 部活動の頻度：平日週4回（月曜休養日） 土日どちらか1日
 部費の負担：なし

【活動目標】

- ・陸上競技を通じた人間力の向上
- ・競技スポーツ，生涯スポーツのどちらとしても陸上競技を行える環境づくり

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日（または日曜日） 8時30分練習開始 11時30分練習終了
- 2 活動場所
八田中学校グラウンド
- 3 年間指導回数
45回
- 4 指導の工夫
 - ・日々の練習や大会の記録をつけさせることで，生徒自身の練習や成果・課題の様子を見えるようにする。
 - ・定期的にミーティングを行い，チームとしての課題点を生徒たち自身に考えさせ，自分たちで修正させる。
- 5 学校との連携
 - ・生徒が練習の様子や大会の記録をファイルにまとめることで，生徒の活動の様子を指導者と教員の間で共有することができる。
 - ・顧問と指導者との打ち合わせをこまめにするすることで，練習メニューなどの確認をしっかりとする。

6 成果

- ・生徒や保護者から、「専門的な練習ができてよかった」「普段生活している学校の先生だけではなく、外部の指導者がいることで緊張感のある練習を行うことができてよかった。」「環境も大きく変わらず、練習ができた」などの前向きな意見があった。
- ・教員だけでは子どもたちへの専門的な指導の部分で不安があったが、指導者のサポートにより、ある程度の質を保証した練習や指導を行うことができた。
- ・生徒が顧問だけではなく、指導者に対しても安心して練習内容や技術について質問や相談に行くことができる環境・関係をつくることができた。

7 課題

- ・専門的な指導の部分においては、本事業は良い方向に効果を発揮できた。しかし、「時間的な部分」に対する課題の解消への効果があったかということに関しては不安な部分が残った。
- ・保護者が「地域部活動」というシステムで八田中がこの1年間活動をしていること自体を知らなかった（気づいていなかった）。
- ・保護者から、「受益者負担」という部分について不安に思う声が出た。
- ・生徒指導的な部分に関して、指導者と上手く共有できない部分があった。

8 今後の方向性

- ・部活動を地域部活動へ移行することで、これから発生してくるであろう「お金（保険料・参加料）」の扱いについて、保護者の理解を慎重に得る必要がある。
- ・土日の部活動が地域部活動へ移行していくことで、教員の「指導面への負担」「時間的な負担」が少しでも解消される方向に効果を発揮していくと良い。
- ・地域指導者として、「どのような人が適した人材であるのか」、「指導資格や審判資格などの資格の必要性」も慎重に考えていく必要がある。



【生徒】(n=8)

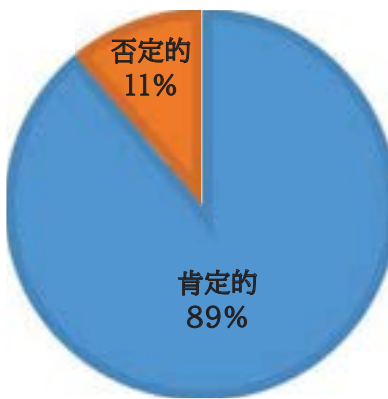
1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



否定的 0% どちらともいえない 0%

- 練習メニューが専門的でめちゃくちゃきつところ良かった。
- 技術や練習方法など専門の人に教えてもらえて良かった。
- 平日は先生がいるけれど、休日に指導をしっかりとってもらえて効果的な練習をできて良い。
- 記録が良くなった。
- 自分を大きく成長させてくれた

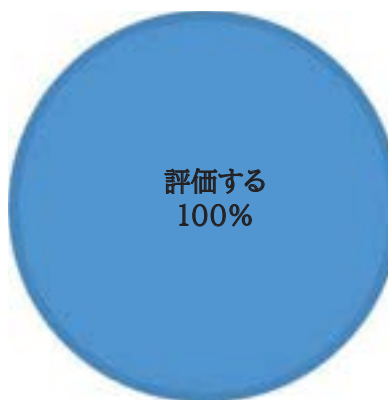
2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



どちらともいえない 0%

- 様々な学校の生徒と教えあえるから良いと思う。
- 他校の生徒と練習ができて、いつもとは違う他校のメニューができて勉強になりそう。
- もっと体力がつき、自分が強くなりそう。
- 知れなかったことを知れるから。
- コミュニケーションがとりづらい

3. 今回体験した休日の地域部活動について

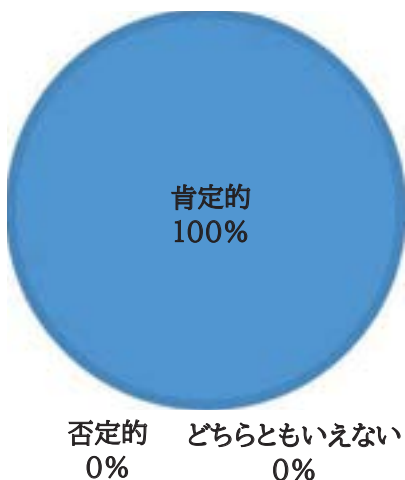


評価しない 0%

- 今までの練習よりも、もっときつい練習ができたから。
- 今回専門の人に教わって、より細かいポイントや、練習方法などを教えてもらい、自分の結果にもつながったから。
- いつもとは違うメニューや練習だったり、いい組合せの練習などをできて良い練習だった。
- 去年よりも速くなれたし、知らなかったことを知れたから。
- 自分の心と体を成長させてくれるから。

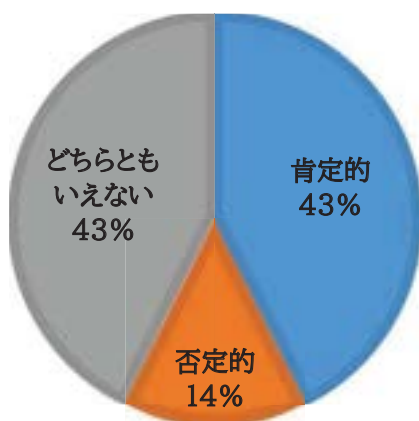
【保護者】(n=8)

1. お子様の様子はどうでしたか



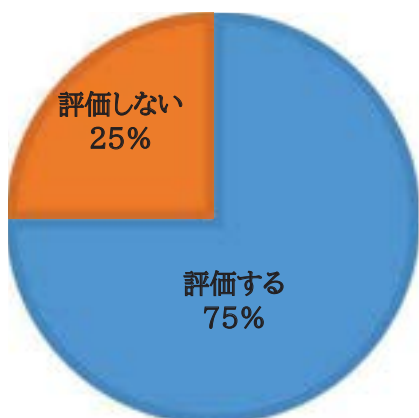
- 熱心に教えてもらい、学校の先生とは違う専門的な知識を教えてもらえて良かった。
- 外部の指導者に教わる事で刺激になったと思います。
- 普段関わりのない指導者で、自分に対しての甘えが減ったように感じました。
- 本人たちの力になっているなら特に問題はありません。
- お互いに緊張感を持って練習に取り組めていたと思います。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 学校の中だけでなく関わりがあるのは視野が広がり、刺激があって良いと思う。
- 経験のある方からアドバイスを頂けると本人のやる気もいい方向に向いてくれると思います。
- 活動場所が自宅から遠いときに送迎ができないときの対応が困る。
- ◇参加料や保険料など経費の受益者負担になるなら部活動の強制参加はどうかと思う。
- ◇部活動は教育活動の一環であると考えており、特別なお金を出して活動しなければならないものではないと思います。全ての子どもが平等に活動できるものにして欲しい。
- ◇地域活動うんぬんというより、部活動の在り方自体を考える時かと思います。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 専門的な指導を受けられ、子どもの為になったから。
- 今までになかった練習や経験ができるから。
- 先生の負担も少しは減り、外部の指導者という事で別の意見を教えてもらうのは有意義だと思います。
- 地域部活動をされていたのは知りませんし、どの部分を言っているのかわかりません。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

- ・専門的技術や知識の指導を行って頂くことで、生徒の取り組み方も向上したと感じる。
- ・今年度から採用のため様子の変かは分からないが、生徒からは昨年度よりも練習がきつくなったという声を聞く。練習に対して4月よりも意識高く取り組んでいる生徒も数名いる。
- ・専門的な指導者による専門的な指導と外部の指導者ということで緊張感があって良い。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

- ・地域の方の、また教員の仕事もよく理解されている方だったため連絡など密にとり、予定を考えることができた。陸上以外のことも学ばせて頂き素晴らしい指導者との出会いだっただと感じる。
- ・こまめに連絡し、打ち合わせを行うことができています。
- ・連絡調整等もスムーズにできていた。

3. 休日部活動の成果と課題について

- ・鈴木コーチに関しては、私も得るものが多く、一緒に指導をして生徒とともに結果だけではなく充実した部活動が実施できた。専門的な指導者がいない部活動については、「地域部活動」は貴重な場となると思う。
- ・専門的な指導で大会での生徒の記録・結果につながったと思う。
- ・保護者への周知と金銭的な面は課題
- ・生徒指導上のことも踏まえた部活動での指導が課題

4. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・評価するが、平日の部活動をどのように取り組むのか教員が考えなければならない部分はあると思う。一生懸命取り組む生徒が、戸惑わないように配慮できれば良いと考える。
- ・自分では、メニューの作り方や練習内容など指導できなかったのが専門的な事を教えていただけるとは心強いから
- ・まだ試運転の状況ではあるが、専門的な指導が可能になるという点では評価できる。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

- ・地域の学校で学ぶ生徒の現状の姿を知ることができ、地域の大人として青少年を見守る必要性を強く感じとれた。気軽に会話やあいさつができることから始めて
- ・陸上部に所属している生徒のやる気を引き出し、大会で好成績を収めることが出来た。
- ・部活動顧問にも技術指導のみならず生徒の心身育成のための指導の在り方を共有出来たと感じる。

2. 運営面や学校との連携について

- ・スポーツ活動には、障害は常につきまとう事である。本園度は活動中に事故負傷などは起きていないが、技術向上をねらったり質を高めるための量を増やすなどの場合負荷と共に危険性がある。もしもの場合1人指導では対応が不十分になる可能性があると感じる。顧問教師の働き方改革の取組ではあるが、本来的には複数での指導が望ましい。
- ・保護者等は幸いにも私の教え子が多く教え子の子どもという関係性で指導を任せて信頼してくれている点は良い。スポーツには結果が関わる。向上し、好成績が出れば次のステップにつながる。限られた指導の延長として必要に応じて次のステップでの指導の保証がほしい。具体的に言えば、関東大会等上のステップでの指導の為の地教委の援助を感じなかった。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・部活動の必要性を感じている先生にとって兼務できることは良い。

女子ソフトテニス部

○概要

種 目：女子ソフトテニス
 参加人数：3年 7人 2年 7人 1年 5人 【計19人】
 指導者名：浅野 茂
 学校顧問名：佐野 周治 窪田 菜美
 部活動の頻度：平日4日（月曜日はオフ）、土曜日3時間
 部費の負担：なし

【活動目標】

- ・自分のプレイに自信を持って試合に臨める生徒の育成
- ・生涯にわたってプレイを続けたいとなる環境づくり

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日 8時15分集合 8時30分練習開始 11時30分終了
- 2 活動場所
八田中学校 ソフトテニスコート
- 3 年間指導回数
38回
- 4 指導の工夫
 - ・練習ノートを活用し、学校部活動と成果・課題等を共有しながら指導をおこなう。
 - ・平日部活動の成果と課題を確認して、全体で共有しながら練習に活かす。
 - ・練習試合や他校との合同練習の機会を増やし、その後ミーティング等において、個やチームが振り返りを行えるようにする。
- 5 学校との連携
 - ・週休日（土曜日）の部活動を利用し、顧問の先生と練習等の情報交換を行う機会をもつ。
 - ・練習ノートを活用し、部活動と成果・課題等の共有を行い、練習メニューを考え、実践できる時間を設定し、生徒同士や生徒とのコミュニケーションの機会を増やす。

6 成果

- ・顧問の先生と連携することで、生徒は専門的な指導を継続して取り組めることができた。
- ・学校部活動を延長して行えたので、生徒は意欲的に活動に取り組んでいた。

7 課題

- ・指導時間が限られているので、休日部活動の時間がオーバーすることがたびたびあった。
- ・顧問の先生との打ち合わせや休日に顧問の先生に来ていただくこともあったので、先生の負担が出てしまった。
- ・生徒の技能の習得に差があるため、練習の工夫が必要だった。

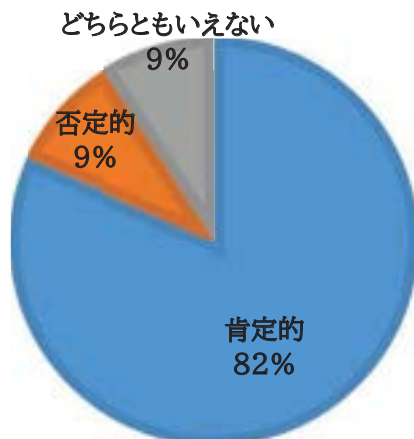
8 今後の方向性

- ・まだ大会の整理が進んでいないため、現在の形を継続して取り組めるのが良いと思う。
- ・経費については、国では受益者負担の考えを示している。学校施設での練習ができなくなると、会場の確保等が課題になる。
- ・生徒が、他校の生徒との交流を通して、色々な種目を経験できる体制づくりを進めていきたい。



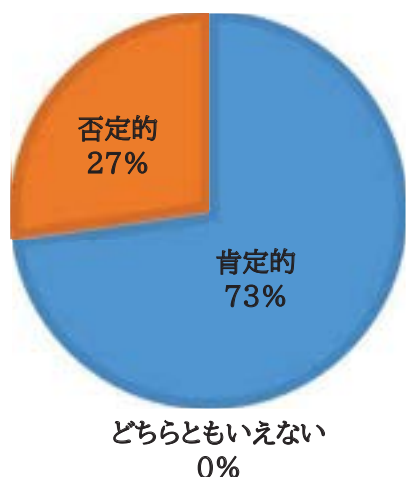
【生徒】(n=12)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



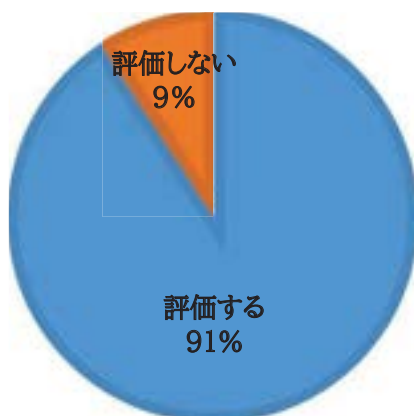
- 専門の指導者に来てもらって、先生の気付けない所を気付いてもらえるからいいと思います。
- 普段いない人に教えてもらうことでコーチ感が増えてちゃんとやろうという気持ちになる。
- 平日になかなか練習ができないときに、休日に指導者に指導してもらえて部活動が楽しいと思えた。
- 自分の欠点など指導してもらい試合に生かした。
- 自分を大きく成長させてくれた
- 日曜日の活動だと来られない人がいるから考えて欲しい。
- ◇コーチが来ない時や来れなくなったときに困った。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 部活への意識が高まり、上達するという事に期待できる。
- 他校の生徒とテニスができて、良い刺激を受けられる。
- 新しい出会いがあって楽しそう。
- 指導者の日程や生徒の日程が合わず参加できない人が増えそう。
- 緊張して練習に集中できない。
- まとめる人が難しくなる。

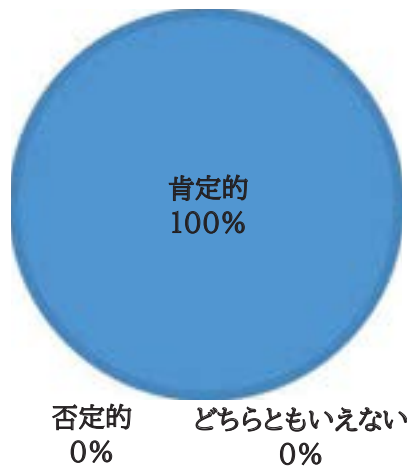
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 練習時間も増えて技術も向上したから。
- 専門の人に教えてもらうことでわかりやすいアドバイスや、意味のある練習ができるから。
- 細かいとこまで教えてくださって、分かりやすい。
- 一人一人しっかり見ていてみんな平等に教えてくれるからいいなと思う。
- 練習がハードになって良かった。
- 楽しかった。
- 来ていない人がいるから。

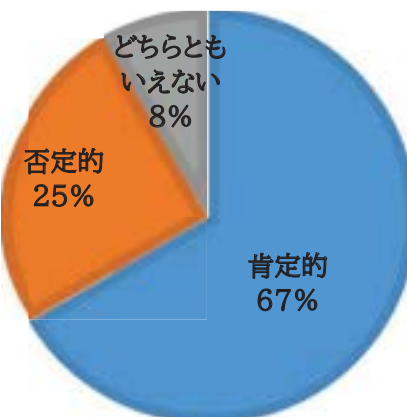
【保護者】(n=12)

1. お子様の様子はどうでしたか



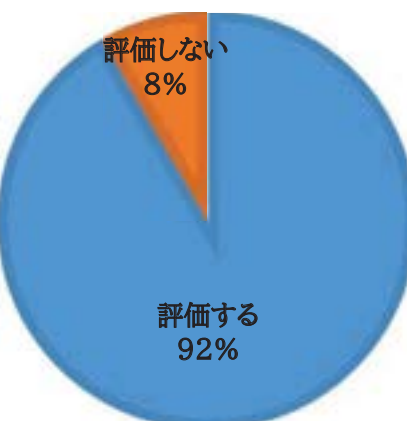
- 休日に学校の先生以外の専門的な指導者からの指導を受けることにより、やる気や意欲が増したようでした。
- 多少の緊張感もあり、この取組はとても良いことだと感じました。
- 新鮮で良かったと言っていました。
- 楽しそうだった。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 色々な方との交流も出来るのでコミュニケーションも取れるので社会勉強にもなると思うので期待しています。
- 経費負担は妥当だと思う。指導者と話をする機会がないので入学式などであいさつできる機会があると安心してお願い出来る。
- 色々な人と関わりが増えることで刺激を受け成長できていいと思います。
- 経費負担は致し方ないが、不参加の生徒が増えることや参加できない人が増え不安です。
- 顧問がない状況は不安です。
- ◇負担額が小さいなら有り難いしやむをえないとも思うが、本来学校活動の範囲で部活動を見せると費用発生するのであれば練習内容や回数などボランティアと違って来るのでしっかりとやってもらいたい。また、指導上の言動で問題発生や責任の所在などが心配。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 先生だけでは大変でもあるし、地域と連携して指導経験者を活用するのは良いと思う。
- 教師の負担軽減に賛成。
- 専門的な指導をして頂き、熱心に助言をしてくださり、テニスの楽しさを教えて頂きました。
- 年々、子どもの数も少なくなり、部活としての活動が出来なくなる部も増えてくると思うのでいいと思う。
- 休日の部活動が何をしていたのかが分からない。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

- ・意識に差が見られた。意欲のある生徒と負担に感じている生徒。土曜日に部活動をし、日曜日に地域部活動を行うことがあったため。地域部活動は自主参加としたが参加者は少なかった。
- ・部活動では基本全員参加だが、地域指導になると人数が集まらない。
- ・やる気のある子にとっては有意義な時間になっている。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

- ・互いにコミュニケーションをとりながら、日程や練習メニュー等の連絡・調整を行った。練習メニューが充実した。
- ・現在はよく知っている方が指導にあってくれているので特に支障はないが本格的に地域の方となったときには不安や連絡先を交わすことに抵抗がある

3. 休日部活動の成果と課題について

【成果】

- ・生徒の技術力や勝ちたい意識が全体的に高まった。
- ・専門の方の指導を受けられるのは教師にとっても、やる気のある子にとっても非常にありがたい。

【課題】

- ・基本的に土曜日に部活動を行い、顧問も地域指導者も参加し、日曜日はOFFにした。複数の目で指導にあたれて良かったが、働き方改革にはつながっていない。
- ・完全移行されるまでは子どもたちの部活動≒地域指導という認識にすることに課題があり、まだまだ自由参加の域を出ない。

4. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・地域指導者を確保し、休日の部活動が地域移行できれば、教師の働き方改革にもなるし、子どもたちの技術力や意識の向上につながると思います。
- ・完全に移行されれば評価に値する。助かります。しかし、段階的な今は、コーチに都合を合わせたり、学校や私用で休めないの逆で逆に負担が大きい。
- ・完全に切り離されるか選択制になれば教員の負担も減ると思う。専門の方の技術や知識を借りられる事は大変ありがたい。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

- ・あいさつができるようになったり、コミュニケーションが少しずつですがとれるようになってきているのではと感じています。もちろんテニスの上達することも大切ですがそれ以上にスポーツが好きになってもらえるといいと思います。

【課題】

- ・関わる時間・日程が少なすぎるように感じます。

2. 運営面や学校との連携について

- ・指導者が一人というのはやはり安全面で不安はあります。
- ・運営的にも日程調整が難しいと感じます。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・今後必要であると言うことは感じています。

軟式野球部

○概要

種 目：軟式野球
 参加人数：3年生 3人 2年生 4人 1年生 0人【計7人】
 指導者名：田鹿 欣孝（兼職兼業）
 学校顧問名：田鹿 欣孝
 部活動の頻度：平日週4回（月曜休養日） 土日どちらか1日
 部費の負担：なし

【活動目標】

『 野球を通して野球力・人間力の向上 』

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日 8時集合 8時30分練習開始 11時30分終了
- 2 活動場所
八田球場
- 3 年間指導回数
30回
- 4 指導の工夫
 - ・平日練習の状況を判断して、土曜日の練習計画を随時組み立てた。
 - ・タブレットや資料を活用し、座学の時間を意図的に設けた。
 - ・少人数なので合同練習を頻繁におこない、様々な場面を想定した判断力練習を繰り返しおこなった。
- 5 学校との連携
 - ・兼業兼務型なので、学校との連携に問題はなかった。
 - ・合同練習を行う際、他校の生徒へ指導することへの理解や承諾をしっかりと確認した。
- 6 成果
 - ・兼業兼務型で指導できていたので、学校部活動の延長上で様々な活動がおこなえた。
 - ・指導者も生徒も保護者も普段と変わらないので、野球の指導のみならず、学校や家庭に関わる様々な面で、お互いに共通理解をしながら活動できた。

- ・働き方改革を意識した勤務ができるようになり、時間外勤務時間を以前よりも減らすことができた。
- ・生徒から、「普段通りの練習ができてよかった」「指導者が変わらないので練習がしやすかった」という声があった。
- ・保護者から、「いつも通り意欲的に楽しく活動できてよかった」「指導者が変わらないので親として安心してお任せできた」という声があった。

7 課題

- ・指導体制が変わらないので、指導において勝利至上主義に陥ってしまったり、指導のマンネリ化してしまったりすることがあった。
- ・合同チームの延長上でおこなっていたので、この活動に対する他校の生徒や保護者の理解度は低かった。

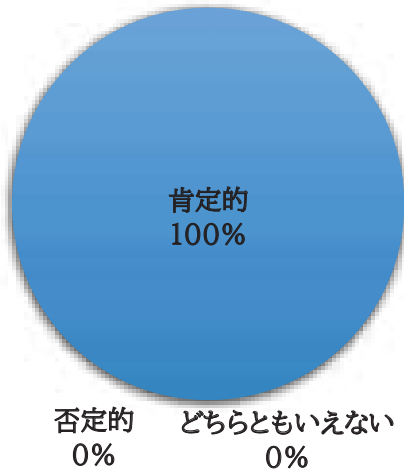
8 今後の方向性

- ・兼業兼務型の指導は、指導者・生徒・保護者にとってとても有意義なものになっているので、選択肢の一つとして残すことは重要だと感じた。
- ・朝日新聞（下の添付資料）に掲載していただいたように、報酬面を含めたお金に関わるところ（保険料・参加料・活動経費など）について、明確な方向性があるとわかりやすい。
- ・朝日新聞の記事から、多くの人に様々な観点から質問や意見をいただいたが、部活動の必要性を大いに感じている方や、部活動を頑張りたいと思ってこれから教員を目指す若者にとって、この記事は明るい未来のあるものだと思う。
- ・兼業兼務型を行うにあたり、時間外勤務の削減や調整をするためには、学校内職員の意思統一と連携が不可欠である。また、校務分掌の細分化や教職員の増員も重要な方策になると感じた。



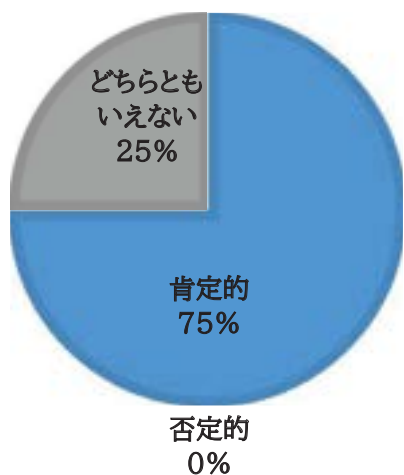
【生徒】(n=4)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



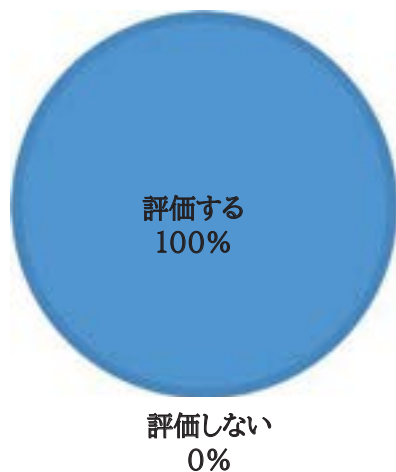
- 普段通りでよかった。
- いつもと同じように練習ができた。
- 部活と同じ指導者だったので良かった。
- 課題と感じていることは特にない。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- いろいろな人と交流ができるからいいと思う。
- いろいろな人と技術が学べる。
- 地域の人と仲が良くなり、コミュニケーションができる。
- ◇いろいろな人と交流ができるのは良いが、自分たちの練習とは違ってコミュニケーションを取るのが難しいと感じる。

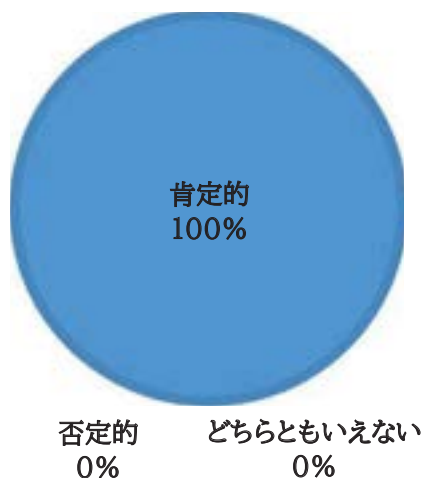
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 普段と変わらず練習がしやすかった。
- いつもと変わらず楽しく練習ができたので良かった。
- 連有で知識や技術を学ぶことができてよかったから。
- 同じ指導者だと先生も大変だし、地域の人がいれば多く教えてもらうことが出来ると思うからです。

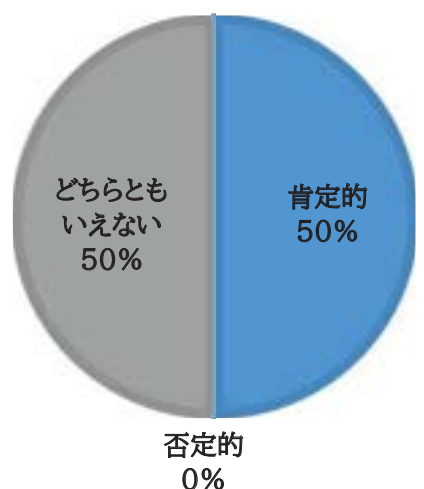
【保護者】(n=4)

1. お子様の様子はどうでしたか



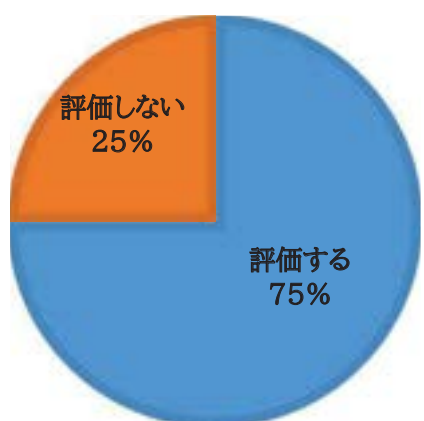
- スポーツ少年団の時のように、ポジション別だったりとかスライディングやその他技術の得意・不得意もあると思うので色々なアドバイスを聞けることは良いことだと思います。
- 意欲的に行えていた。
- 練習は楽しそうに出掛けていたので親としても安心してお任せできました。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 視野が広がり、他からの刺激を受けて、意欲向上となれば良いと思う。
- 先生方が忙しいときに地域指導者に協力していただければ良い成績につながっていくのではと思います。
- ◇負担が多くなったりしないか不安です。専門の指導を受けられることは歓迎ですが。
- ◇学校の保険では保障がないのでしょうか。地域部活動とクラブチームの違いはどこにあるのでしょうか。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 普段の活動とあまり変わりがなく行われたように感じたので。
- 色々な方に指導をして頂くと1つのことだけではなくたくさんのことが学べると思うので良いと思います。
- 指導者が同じであったため実際の所が良くわからない。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

・特に変わりはない。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

・兼務なので特になし

3. 休日部活動の成果と課題について

・兼務は普段と変わらない指導ができる

4. 今回体験した休日の地域部活動について

・部活動に魅力を感じている教師希望の若者や部活動を必要としている先生にとって「兼務型」は良いと感じる。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

・兼業させていただいているので普段と変わらない指導が継続して行えるので 一貫性がとれる。

【課題】

・変わり映えのない指導になってしまっている。

2. 運営面や学校との連携について

・兼務なので特に大きな問題はなかった。

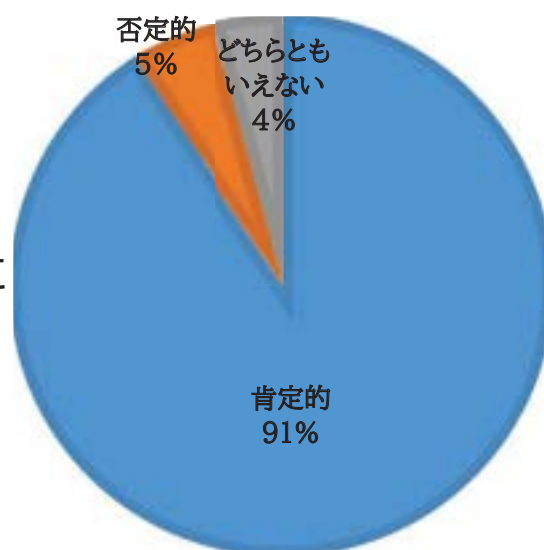
3. 今回体験した休日の地域部活動について

・部活動の必要性を感じている先生にとって兼務できることは良い。

まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【生徒】(n=69)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



- 専門的な知識を持った指導者から指導して頂けることで、効果的な練習や説明が分かりやすく、技術の向上にもつながった。
- 兼職兼業した先生が指導することで、自分たちの良いところも悪いところも分かっているため練習も分かりやすく、平日と変わらず練習ができた。
- 休日のみの指導となってしまったので、聞きたいことや指導者とのコミュニケーションがとれなかった。
- 平日の練習に比べて、練習の参加率が低くなった。
- ◇指導して頂く時間が限られているので、不安に感じた。
- ◇細かい点まで指導して頂けるのはありがたいが、違う指導者の方に話しかけづらい点がある。

※生徒の意見の中から主なものを抜粋

【課題】

- ・競技人口が少ない種目については、指導者の確保が難しいと考えられる。
- ・休日のみの指導では、人間関係の確立等が難しいと考えられる。

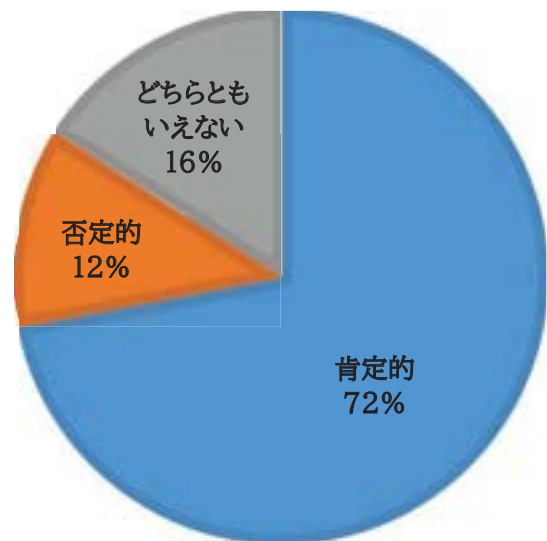
【対応策】

- ・地域のスポーツ団体やスポーツ協会等の指導者に加え、退職した教員や小学校教員等が指導者の担い手となれるよう進めていく必要があるのではないか。

44 まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【生徒】(n=69)

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 他校の生徒と交流することで、お互いに教え合ったり、交流することができる。
- 部活への意識が高まり、技術が上達することに期待ができる。
- 地域の指導者や地域で活動している人達から指導してもらえればより良い技術の向上が望めると思う。
- 学校部活動として安心して行うことができていた活動が地域移行となると、知らない人が多く来ることが不安に感じる。
- 部活動として行っていた大会や部活動の伝統等、部活動の本来の目的をなくすのは違うと思う。
- 他校の生徒と一緒に練習をする事で、コミュニケーションがとりづらくまとめる人が難しくなりそう。
- ◇学校部活動としての練習が減るため、試合ができるかが不安。
- ◇他校の生徒と練習することで、練習について行けるかが不安。

※生徒の意見の中から主なものを抜粋

【課題】

- ・活動中のケガやトラブル等に対応する保険は、どのようなものがふさわしいか。
- ・競技力向上のため、活動時間や休養日の設定など「やまなし運動部活動ガイドライン」を遵守しない活動になることが考えられる。

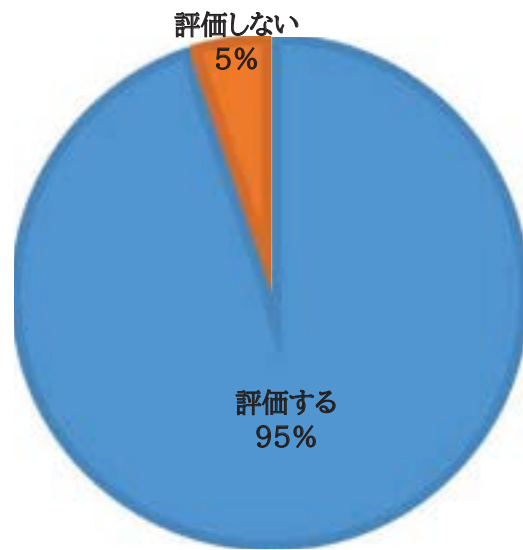
【対応策】

- ・指導者の研修や、行政、中学校、スポーツ団体等が話し合える場を設定する必要があるのではないか。
- ・「やまなし運動部活動ガイドライン」の遵守を強く要請する必要があるのではないか。

このまとめアンケート結果を踏まえた課題・対応策
 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【生徒】(n=69)

3. 今回体験した休日の地域部活動
 について



- 専門的な指導で、細かいポイントや練習方法など教えてもらえて良かった。
- 自分の技出向上や心と体の成長につながった。
- 質の高い練習ができた。
- いつも学校で指導している方だったので、不安なく活動できたから。
- 休日だけでなく、もっと指導してもらいたかった。
- 休日の活動に参加していない人がいるから。
- どちらともいえないため評価できない。

※生徒の意見の中から主なものを抜粋

【課題】

- ・運動嫌いな生徒でも地域スポーツ活動に参加できるよう、競技志向でない生徒の意向を十分尊重した活動となる工夫が考えられる。

【対応策】

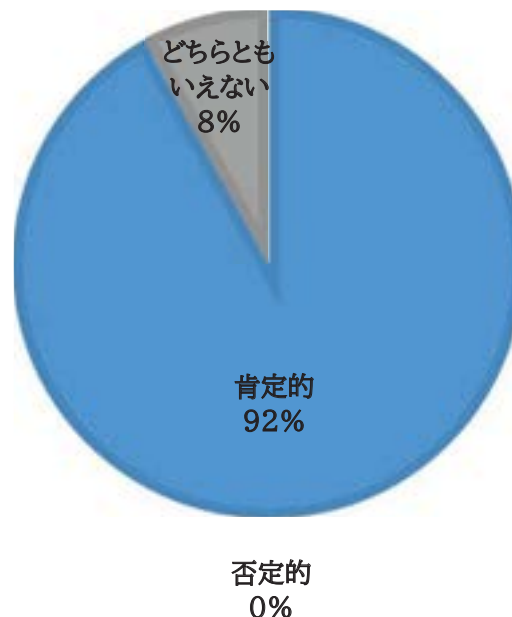
- ・誰もが参加しやすい地域スポーツ活動にするため、生徒等のニーズを把握する必要があるのではないか。

本調査結果から、本事業に関わった多くの生徒は、休日の部活動が地域に移行されることについて、肯定的に捉えていることがわかった。その感想等の多くは指導者に関する事項であり、専門的な指導を受けられることが評価されている。一方、他校の生徒との交流などについて不安感をもつ生徒がおり、学校教育の一環としての部活動の意義を重視する声もあった。

46 まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【保護者】(n=70)

1. お子様の様子はどうでしたか



- 学校の教員以外の専門的な知識を持った方に指導して頂くことはありがたいと思う。
- 技術的な指導を受け子どもの技術が上がったり、試合で結果が出たりした。
- 新鮮で楽しそうに活動していたので親としても安心して任せられた。
- ◇指導者をつけて指導を行う場合、学校の先生の考え方、目標、指導方針など同じ考えを持って頂く事を希望する。
- ◇人見知りのある子なので、休日のみの指導者の方とのコミュニケーションがとれていたのか心配がある。
- ◇指導時間が減ったことで技術面の心配がある。

※保護者の意見の中から主なものを抜粋

【課題】

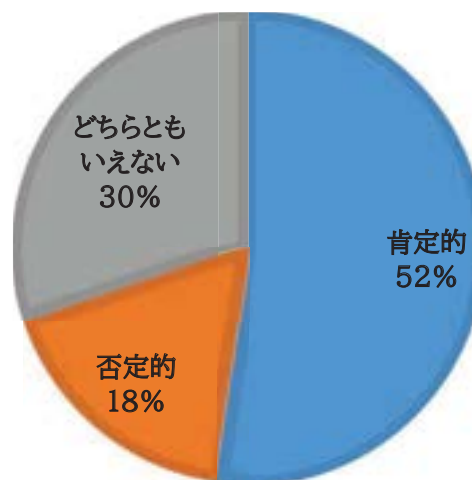
- ・指導者としての資質と専門性を持ち合わせた人材を多く確保することが考えられる。

【対応策】

- ・スポーツ指導者の発掘・登録など人材バンクを整備する必要があるのではないか。
- ・地域のスポーツ団体やスポーツ協会等の指導者に加え、退職した教員や小学校教員等が指導者の担い手となれるよう進めていく必要があるのではないか。

【保護者】(n=70)

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 先生方の負担軽減を考えると民間委託の導入や部活動を地域移行していくことも必要ではないかと思えます。
- 子どものやりたいことに対する参加料などの負担はしかたがないことだと思う。
- いろんな方と交流できることは良いことだと思う。
- 受益者負担となるのはどうかと思う。負担がどの程度になるのか、活動の時間、場所等トータルで活動を選ばなければならない。
- 地域活動となると、保護者の負担が大きくなり、一部の保護者に迷惑がかかってしまう。
- 学校の教員や顧問のいない中での活動は不安。
- ◇学校部活動は、技術の指導だけでなく教育の一環でもあり、保護者としても安心が出来る面がある。地域に移行されても教育的要素はなるべく残して頂きたい。
- ◇学校の部活動を行うことで仲間意識が高まったりと思うので今のままで良いと思う。
- ◇外部の指導者に指導を受けることはたくさんのメリットもあると思いますが子どもたちに教えるという技術を持ち合わせていない方が指導出来るのか不安もある。(体罰や暴言など)
- ◇休日の活動でケガや事故があった場合はどうなるのか不安。

※保護者の意見の中から主なものを抜粋

【課題】

- ・平日指導と休日指導の関連性や、保険料・参加料等の経費負担に関する事など地域スポーツ活動全般について、十分な説明を行うことが考えられる。
- ・競技力向上のため、活動時間や休養日の設定など「やまなし運動部活動ガイドライン」を遵守しない活動になることが考えられる。

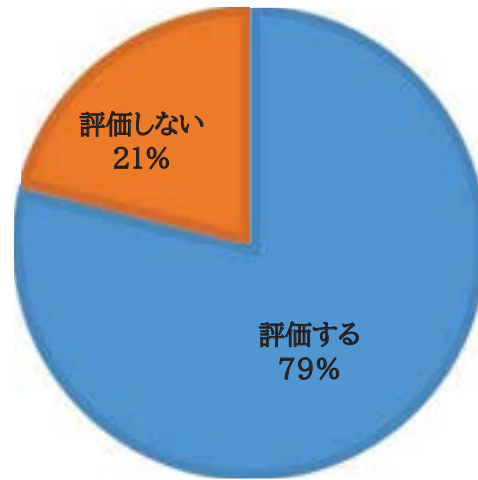
【対応策】

- ・市町村教育委員会等と連携を図りながら、保護者説明会等を開催し、丁寧な説明を行う必要があるのではないか。
- ・「やまなし運動部活動ガイドライン」の遵守を強く要請する必要があるのではないか。

48 まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【保護者】(n=70)

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 先生方の負担軽減のためには必要だと思う。
- 専門的な知識を持った指導者に教えてもらえることは生徒にとって良いと思う。
- 専門性の強い種目においては、外部指導者の活動は良いのではないかと思う。
- これからも地域活動を通じて人々とつながりを持ち、社会との関わりを続けて欲しい。
- 部活動は学校活動と考えます。
- 各家庭の支援が前提であり、支援が出来る家庭と出来ない家庭による様々な格差が発生することが心配。

※保護者の意見の中から主なものを抜粋

【課題】

- ・平日指導と休日指導の関連性や、保険料・参加料等の経費負担に関する事など地域スポーツ活動全般について、十分な説明を行うことが考えられる。
- ・競技力向上のため、活動時間や休養日の設定など「やまなし運動部活動ガイドライン」を遵守しない活動になることが考えられる。

【対応策】

- ・市町村教育委員会等と連携を図りながら、保護者説明会等を開催し、丁寧な説明を行う必要があるのではないか。
- ・「やまなし運動部活動ガイドライン」の遵守を強く要請する必要があるのではないか。

本調査結果から、本事業に関わった生徒の保護者の大半は、休日の部活動が地域に移行されることについて、肯定的に捉えていることがわかった。その感想等の多くは指導者に関する事項であり、専門的な指導を受けられることなどが評価されている。一方、地域スポーツ活動に係る経済的不安などを懸念する家庭もあり、本実践研究の大きな課題であると認識することとなった。

【参考】

「令和5年からの休日部活動の地域移行に伴う実態調査」の調査結果

山梨県小中学校体育連盟 調査統計部

1 はじめに

文部科学省が平成28年度に実施した教員勤務実態調査においては、教師の厳しい勤務の実態が改めて明らかとなった。これを受けて、平成31年1月25日、中央教育審議会において「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について取りまとめられた。令和2年9月には、更なる部活動改革の推進を目指し、部活動ガイドラインで示した「学校と地域が協働・融合」した部活動の具体的な実現方策とスケジュールが明示された。部活動における教師の負担軽減に加え、部活動の指導等に意欲を有する地域人材の協力を得て、生徒にとって望ましい部活動の実現を図るものである。

このため、令和5年より休日部活動の地域移行の段階的实施に向け、技術的な指導ができる地域の人材活用と部活動指導を今まで通り続けていきたい意向のある教員との連携を図り、部活動の円滑な運営を目指していくことが不可欠となる。

そこで、山梨県小中学校体育連盟では、各学校における部活動の実態調査と教員の休日部活動における部活動指導に関する実態調査を行う中で、休日部活動の地域移行の段階的实施に向けての資料としていきたいと考えている。

2 調査目的及び内容

山梨県小中学校体育連盟では、令和5年からの休日部活動の地域移行に対して、教員のニーズや課題、意向を明らかにし、今後の段階的实施に向けての一資料を得ることを目的とした。

調査内容は、部活動の指導を実際に行っている顧問を対象として「兼職兼業の許可申請を出して休日部活動の指導にあたるか」や「休日部活動の地域移行に際して期待できることや課題だと思うこと」などである。本年度は、この移行に当たっての初年度の調査ということで、現場の教員の声を聞く中で実現可能な方向性を探る一端として調査を行った。

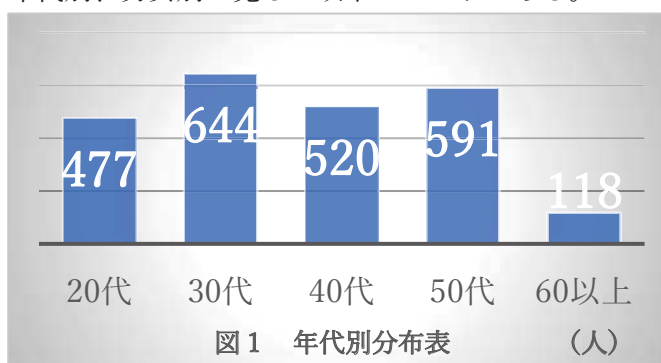
3 調査対象

山梨県内10支部、81校の教員を対象に、6月～7月にかけてアンケート調査を実施した。対象となる教員は、以下の通りである。

支部	甲府	中巨摩	笛吹	峡南	都留	峡北	東山	吉田	南都留	北都留
男性	158	169	62	57	40	76	60	42	44	43
女性	108	146	35	34	29	57	55	34	29	30
合計	266	315	97	91	69	133	115	76	73	73

全合計 2350人

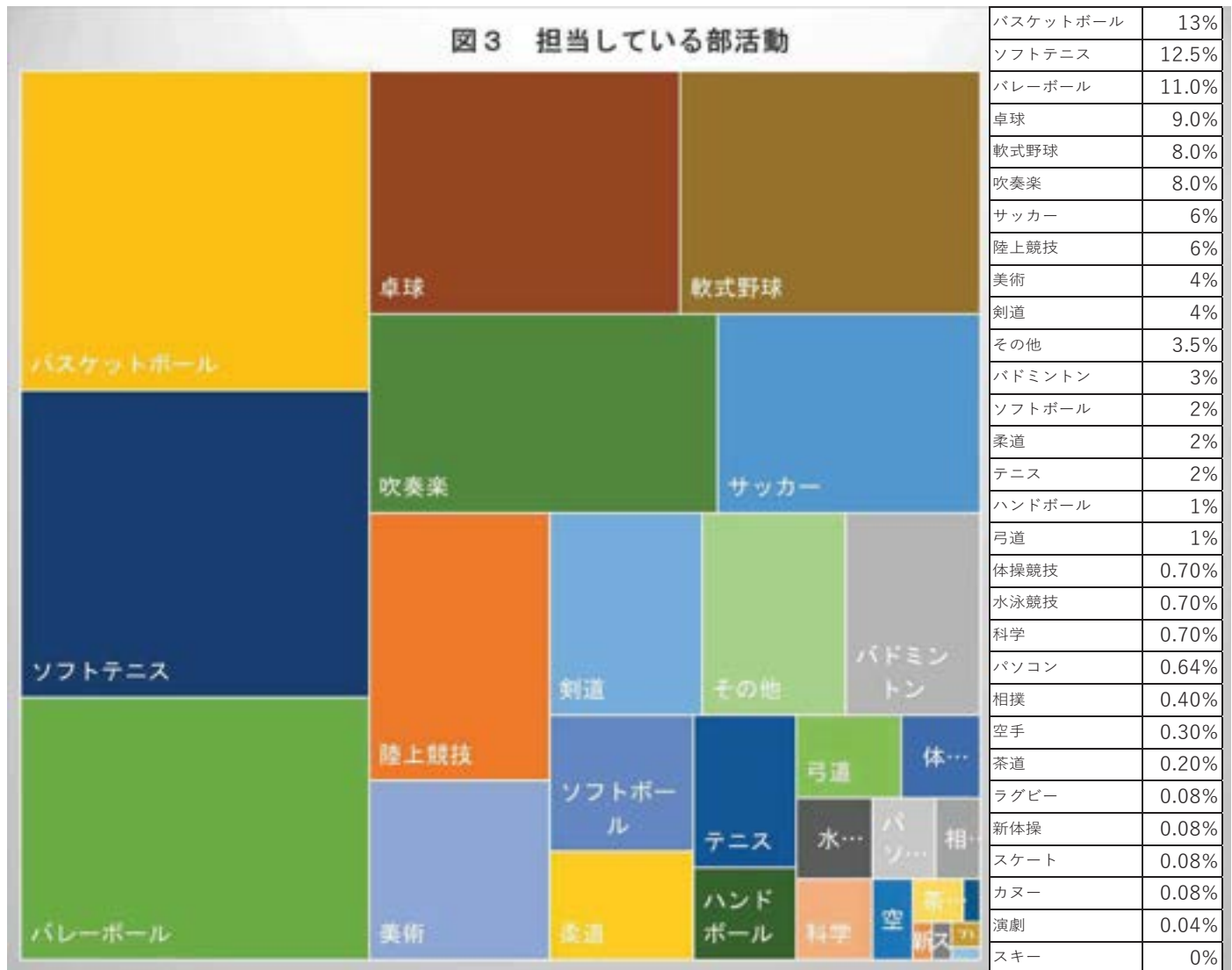
年代別、男女別で見ると以下のとおりである。



4 調査結果

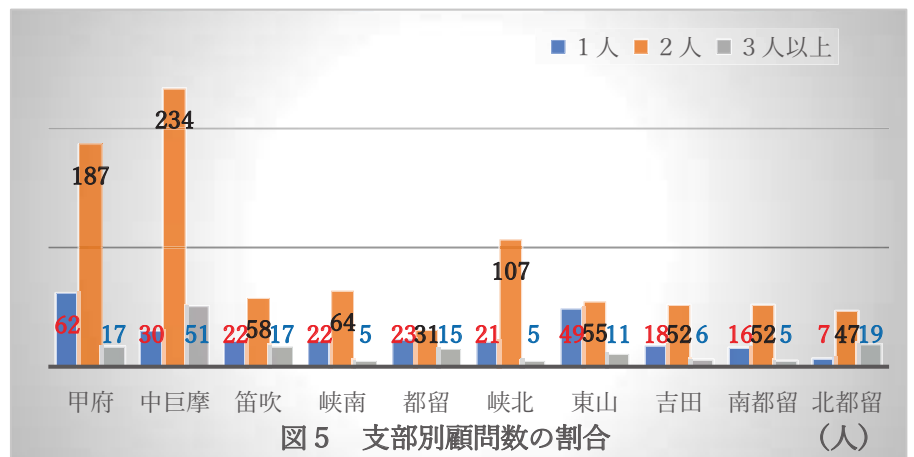
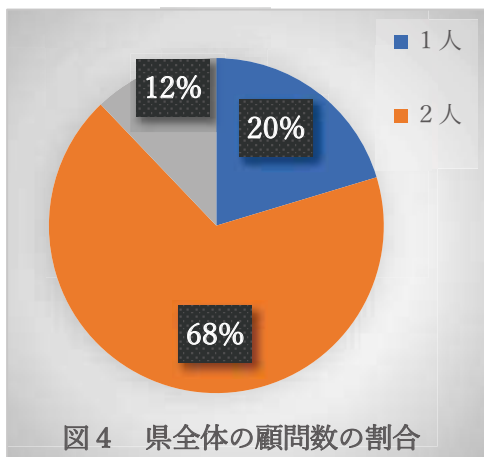
(1) 今年度、顧問として主な活動をしている部活動は何かについて

図3は、担当している部活動は何かについて、ツリーマップで視覚的に示したものである。全体の内訳は、バスケットボールが13%で最も高い割合を示し、その次にソフトテニスの12.5%、バレーボールの11%と続いて高い割合であった。その他には、家政部、文化芸術、なぎなた、アーチェリー、ホッケー、ボートなどがあつた。



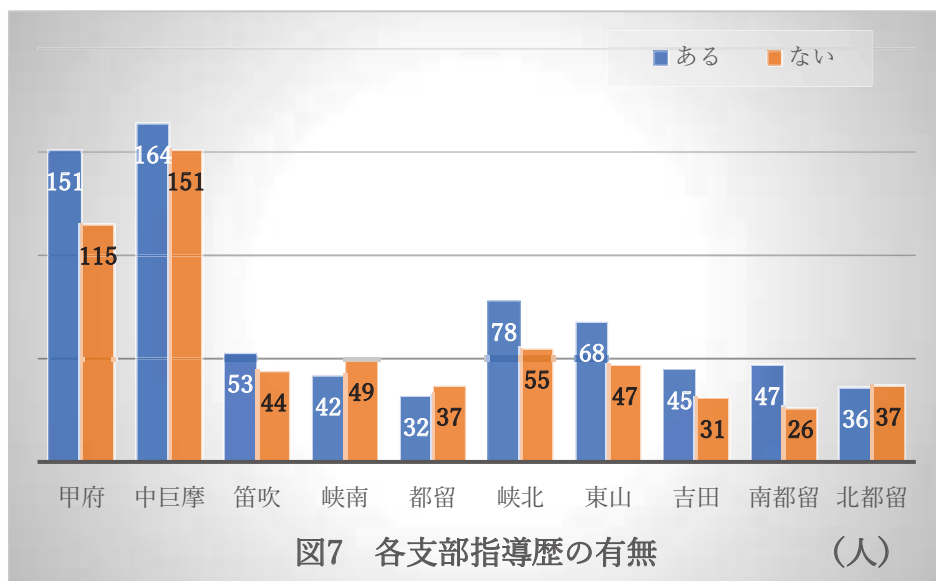
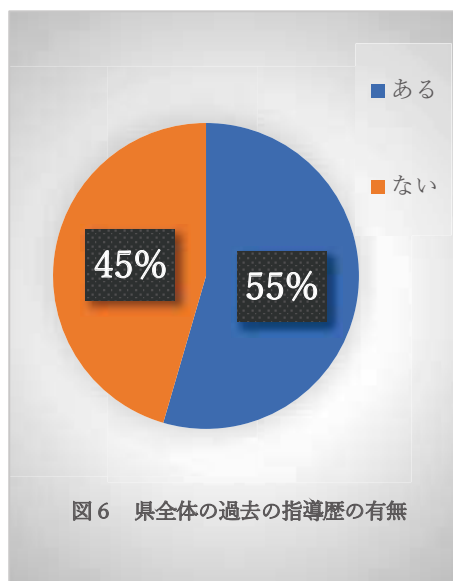
(2) 担当している部活動の顧問数は何人かについて

図4の顧問数については、すべての支部で、2人以上の顧問で部活動指導に当たっている人が多いという割合を示した。また、図5の支部別に見ると、峡北支部、中巨摩支部では、複数顧問の割合が他支部に比べて多いことが顕著であった。



(3) 顧問になっている部活動は、自分自身が指導歴のある分野かについて

図6の指導歴については、指導歴があると答えた人が、ないと答えた人より10%多い。図7の支部別に見ると、甲府、中巨摩、笛吹、峡北、東山、吉田、南都留と10支部中7支部が「ある」と答えた人が多かった。指導歴については、経験したことのある部を継続して担当している教員が多いことがいえる。



(4) 兼職兼業の許可申請の希望について

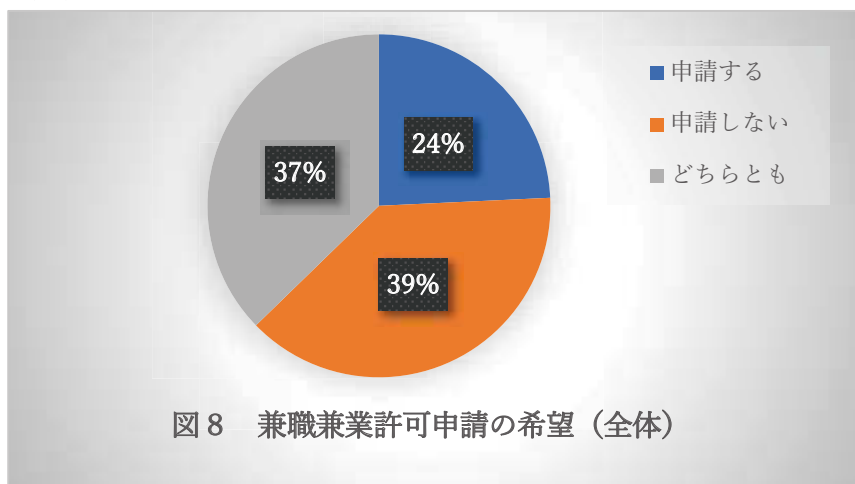
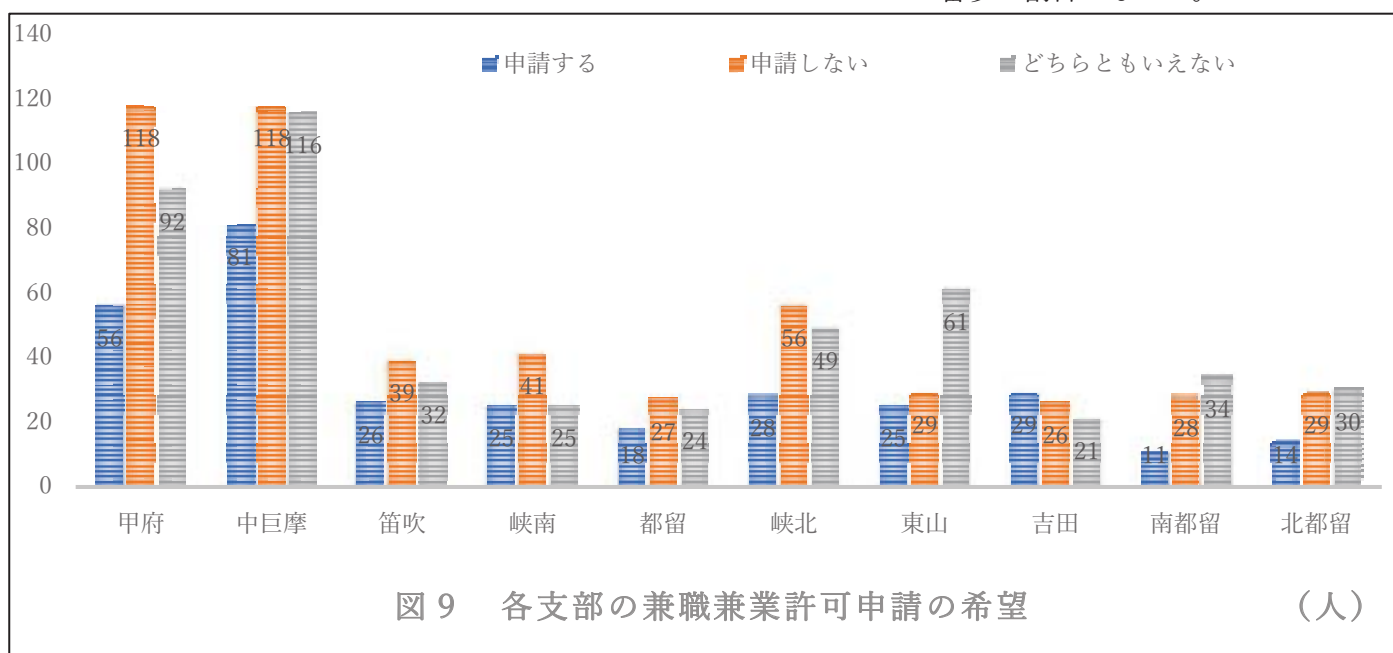


図8は、山梨県全体の教職員が、兼職兼業許可申請を希望するかの統計である。「申請する」と答えた人は、全体の24%、「申請しない」と答えた人は39%、「どちらとも言えない」と答えた人は37%だった。

図9の各支部の割合を見ると、「申請する」が他の2つを上回った支部は吉田支部のみで、「どちらとも言えない」が他の2つより上回っているのが、東山、南都留、北都留支部、その他6支部は、「申請しない」が一番多い割合となった。



(5) 「申請する」と答えた人の理由

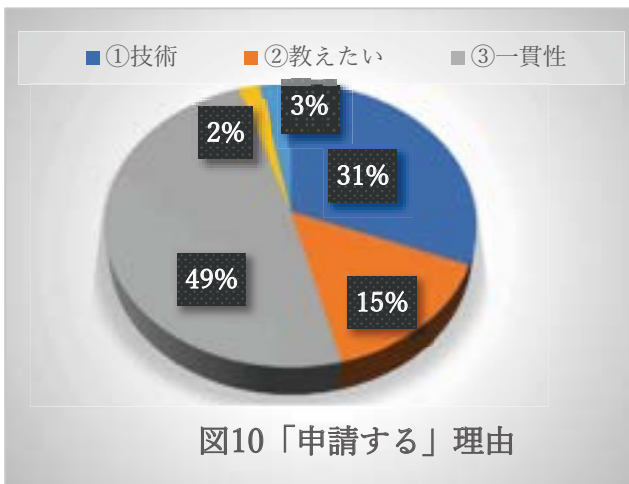


図10の「申請する」と答えた人の中で一番多かった理由は、③の部活動指導をした方が、生徒指導など学校内の指導との一貫性を図れるからが全体の49%と一番多く占めていることから、部活動の教育的効果を感じている教員が多いことがこのことから伺える。その次に、①の平日と休日部活動で技術指導に一貫性があった方がよいを選択している人が31%、②の自分が持っている専門的技術を子供たちに教えたいが15%を占めていることから、自分の持っている技術的な指導力を子供たちにも教えていきたいと思っている教員が約半数近くいると考えられる。

(6) 「申請しない」と答えた人の理由

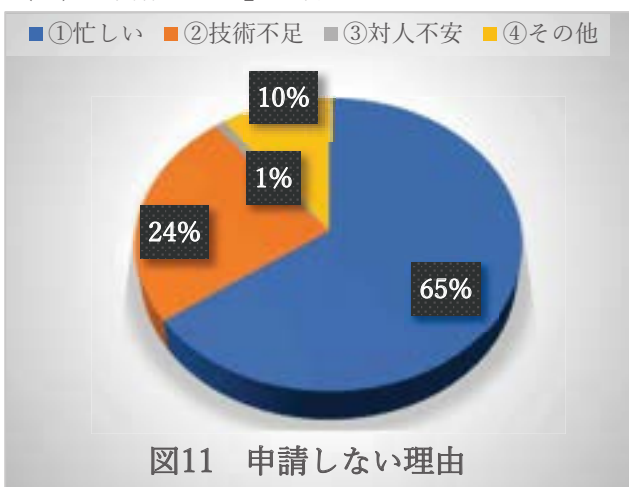


図11の「申請しない」と答えた人の中で65%が一番に挙げている理由は、①の多忙になるからである。部活動指導が教員の多忙化につながっていると感じている教員が多いことは、紛れもない事実であるといえる。残りの24%の人たちは、スキルの面で部活動指導に不安がある。1%の人たちは、保護者や生徒対応に不安があると答えた。その他の10%の人達の理由は、退職するため、退職しているためや家庭を優先させたい、技術指導できる専門的スキルを持っていない、土日に活動はしていない、休みたい、すでに地域指導者として活動しているなどの意見が多かった。

(7) 「どちらとも言えない」と答えた人の理由

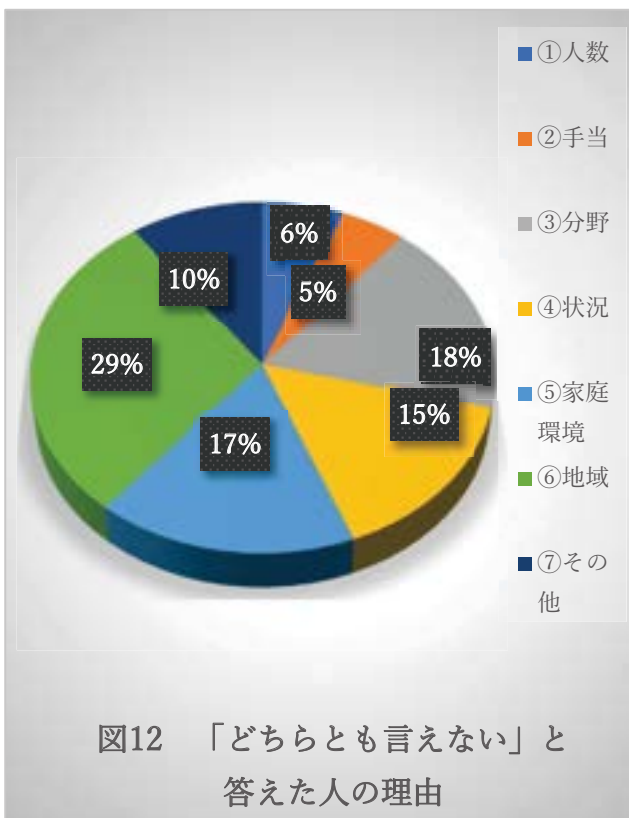


図12の「どちらとも言えない理由」として一番多いのは、⑥29%の地域活動指導者の仕組みや役割のことがよくわからないためと回答しており、この移行における趣旨やどのような方向性で部活動が変わっていくのかなど周知されていないことが浮き彫りとなった。今回のアンケート調査を行うにあたり、各支部の調査統計委員が説明をして初めて知った教員も多く、今後広く周知させていくことも課題である。次に、③の指導する分野によるが18%、⑤の自分の家庭環境によるが17%、④の学校の分掌などそのときの仕事の状況によるが15%の順に回答が多かった。⑦のその他の意見としては、平日と休日で一貫した指導ができるか地域との連携の問題を挙げている人が一番多く、生徒との関係作りや生徒指導にも繋がる部分があるという理由が次に多かった。逆に、①複数顧問体制、②指導時間やそれに対する手当と答えた人は、6%未満と少なく、「申請をするかしないか」は、地域指導者の仕組みを知った上で、専門性や自分を取り巻く環境で決めたいという人が約8割を占めているということがわかった。

(8) 休日部活動の地域移行に際して、期待できること

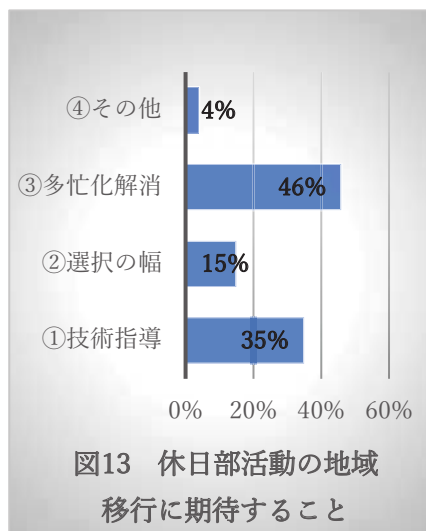


図13の休日部活動の地域移行に際して期待することでは、③の教員の多忙化が解消されるが46%と高い割合を占めており、このアンケート項目からも部活動が多忙化につながっていると感じている教員が多いことが伺える。次に、①の子ども達が専門的な技術指導をしてもらえが35%、②の近隣の学校と一緒に練習をすることによって、子ども達の選択の幅が広がるが15%の順に多い結果となった。その他の理由の中には、地域の大人と接することにより、子供達にマナー等がより身につく、地域の人と連携や交流が生まれる、改善について前向きな議論がなされるなど期待の声がある一方、地域に専門的指導者がいないのでこの取り組みに期待ができない、期待できることもあるだろうが、トラブルが発生した場合、逆に多忙化にならないか心配であるなど不安の声もあった。

(9) 休日部活動の移行に際して、課題だと思ふこと

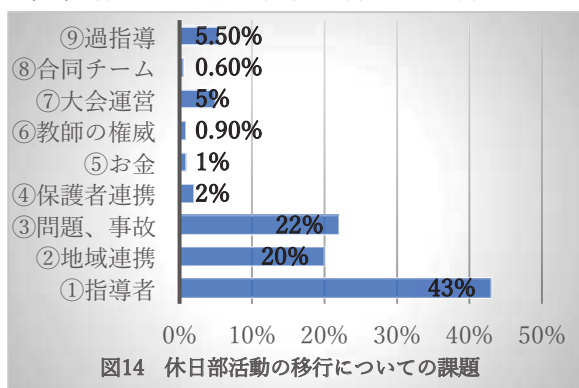


図14の休日部活動の地域移行に際して課題だと思ふことでは、①の指導者の確保が43%と一番高い割合を示し、次に③の安全面や問題、事故発生時の責任の所在が22%、②の学校と地域との連携の順に高い割合であった。この3つに関しては、(8)のその他の回答にもあったように、地域に指導者がいるか、問題が発生したときの対応などにこの取り組みの難しさを感じている教員が多いことが伺える。

5 今後の具体的な取組方向

今回の調査結果を受けて、令和5年からの休日部活動の地域移行に向けて方向性を見いだしていきたい。

まず、兼職兼業許可の申請希望を出すかについては、この移行に対する取り組みが周知されていない部分も大きいですが、申請すると答えた教員が24%と少なく、果たしてその他を地域活動指導者で補えるのかというところが一番大きな課題であると考え。これまでの調査統計の「部活動指導員に関する調査報告」「部活動指導員任用事業についての調査結果」にもあるように、外部指導者、部活動指導員の人数も少なく、競技によって偏りがある。また、この3年くらいのうちにも部活動指導員が大幅に増減している種目がある現状を踏まえ、教員を含めた実際の指導者数を把握し、この取り組みをどのように展開していくかを慎重に考える必要がある。

さらに、地域活動指導者の継続的指導の確保、学校との連携、部活動数の調整、合同チームの整備、各競技専門部の運営、規約の整備など持続可能なスポーツ・文化的活動にするためには、多くの課題の検討が必要である。

まずは、令和5年からの休日部活動の地域移行に向けての取り組みを全体に周知させることが重要であると感じた。具体的な情報を提供し、知ってもらった上で兼職兼業許可申請の希望を再度とることが、指導者数の実態を正確に知ることにつながり、更には、教員のニーズや課題点、意向もより明確になると考える。また、教員だけでなく地域の指導者を確保するために地域活動指導者に関するリーフレットや手引きを配布し、広くアナウンスすることで、地域活動指導者の人数や実態把握につなげることも大切だと感じた。

今後は、モデル校の結果や今回の調査結果を受けながら、他県の動向も参考にしつつ、山梨県教育庁保健体育課、山梨県小中学校体育連盟が連携して部活動改革に関わる様々な課題を検討し、明確にしていくことが重要である。また、子ども達にもアンケートを実施し、生徒達のニーズを把握した上で、生徒達にとってよりよいスポーツ活動、文化的活動の整備のために引き続き今後も調査を進め、よりよい改革の方向性を探っていきたい。

〔文責： 調査統計部委員長 杉原 彩子 (甲府市立城南中学校)〕